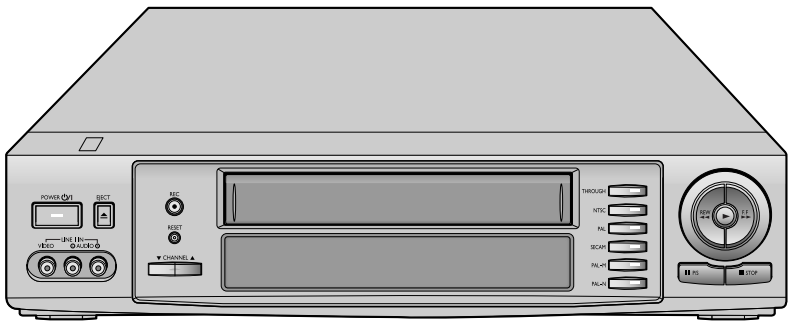
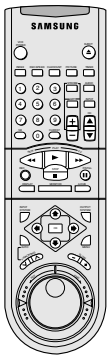
SAMSUNG

ビデオテープレコーダー

SV-9000W

取扱説明書





安全上のご注意

JA **必ずお守りください。**

危険

感電の恐れがあります。
開けないでください。

危険: 感電のおそれがあります。カバーや背面を取り外さないでください。
中の部品はユーザーが取り扱うことはできません。修理はお近くのサービス店に依頼してください。

この表示は高い電圧が製品内部に存在することを示しています。危険ですから、この製品の中の部品には触れないでください。

この表示は操作と維持に関する重要な内容があることを示しています。

注意：許可のない変更あるいはこの機器の改造は操作するユーザーの権威を無効にすると記しています。

注意：ショートを防ぐためにも、プラグは正しく差し込んでください。

火事またはショートを避けるためにも、雨または湿気の多いところでは本体を設置しないでください。

安全上のご注意

JA

1. 安全にお使いいただくために、ご使用になる前にはこの取扱説明書をよくお読みください。

2. これからも安全にご使用いただくため、この取扱説明書をお手元に保管して必要なときにご覧ください。

3. 取扱説明書に書かれている製品の注意事項や操作の仕方をお守りください。

4. 取扱説明書の通りにお取り扱いください。

5. 本体を手入れするときには、必ず電源を切ってから行ってください。液体洗剤やエアゾールなどを使用しないでください。お手入れするときには、水で堅く絞った布をご使用ください。

6. 安全にご使用いただくためにも、取扱説明書で扱われていない付属品はご使用にならないでください。

7. 風呂場、洗面台、台所やプールなど水がかかるような場所での使用はさけてください。

8. 不安定な場所で本体を置かないでください。本体が落下してけがをする恐れがあります。
安定した場所に本体を置いてご使用ください。

9. 本体を持ち上げたり、移動する際には十分に注意してください。

10. 本体の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと本体の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に本体を置いたり、本体を風通しの悪いところでお使いになったりしないでください。

JA

11. この製品に表示されている電源をお使いください。ご家庭で使用されている電源と対応しない場合は、お近くの電力会社や販売店にご相談ください。

12. 電源コードの取り扱いには充分に気をつけてください。

13. 外のアンテナまたはケーブルシステムが本体と接続されている場合、アンテナとケーブルシステムのアースが正しく取り付けられているかどうかを確かめてください。

14. 本体の保護のためにも雷を伴う天候や長時間使用しなかった場合、コンセントを抜き、アンテナの接続やケーブルシステムの接続を取り外して下さい。

15. アンテナが電線などに接触しないように取り付けてください。

16. コンセントや延長コードを引っ張ったり、負担がかからないようにしてください。火事やショートの原因になります。

17. 本体の中に液体や異物が入らないようにしてください。液体や異物が入った場合、中の部品とショートして故障や火事の原因になります。

18. 本体のカバーを開けて分解したり、修理したりしないでください。中には電圧の高い部品があり、危険です。修理は必ずサービス員にご依頼ください。

19. 以下のような場合がみられるときは、本体のコンセントを抜き、必ずサービス員にご依頼ください。

    a. 電源コードやプラグが損傷しているとき
    b. 本体に水や液体がかかった場合
    c. 本体が雨にさらされた場合
    d. 取扱説明書通りに操作ができない場合、無理に調整しようとせずに、サービス員にご依頼ください。
    e. 本体が落下したり、損傷した場合
    f. 本体が正常に作動しない場合

20. 部品の交換は必ず正規品をご使用ください。正規品ではない部品を使用すると、故障の原因、また火事、
また感電などの危険の恐れがあります。

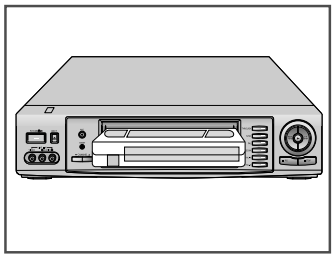
21. 修理のご依頼は、SAMSUNGサービス窓口にご依頼下さい。

22. ラジエーターやストーブなど熱を出す製品から遠ざけてご使用ください。

はじめに

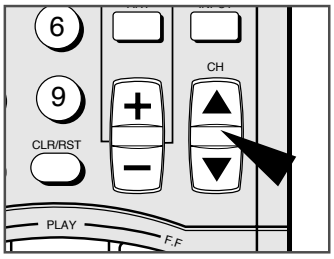
JA

番組を録画するには



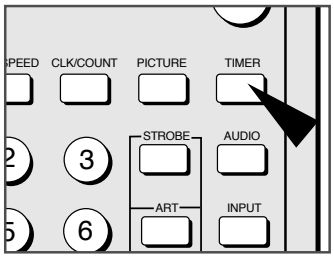
ビデオテープを挿入します。

30分単位で録画を始め、終わると自動的に止めるには

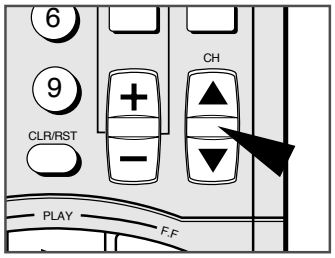


ビデオテープを挿入します。リモコンのCHボタン（▲や▼）を押してチャンネルを選択します。

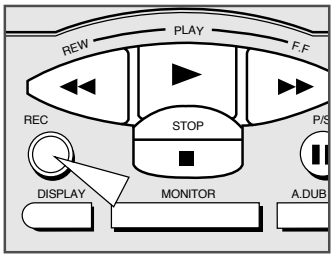
タイマー録画するには



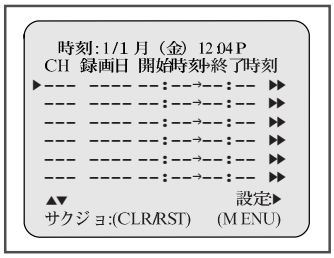
ビデオテープを挿入します。
リモコンのTIMERボタンを押します。



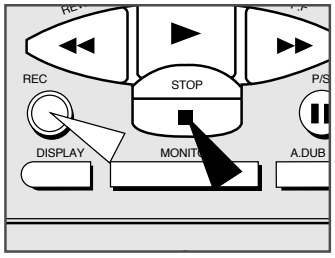
リモコンのCHボタン（▲や▼）を押してチャンネルを選択します。



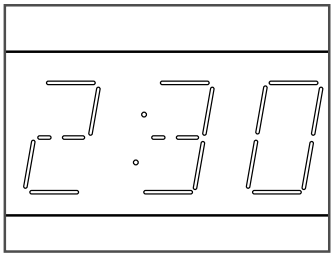
録画をスタートするには1秒ぐらいRECボタンをを押します。



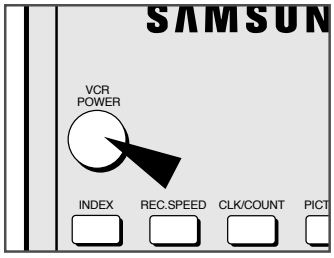
番組時間を入力してから、MENUボタンを押します。



録画をスタートするには1秒ぐらいRECボタンをを押します。
録画が終了したら、STOP(■）ボタンを押します。



希望の録画時間が表示されるまでRECボタンを数回押して、設定します。
結果: 設定した時間まで自動的に録画を行って終了します。



ビデオの電源を切り、タイマ-録画待機にします。

目次

JA

◆ はじめに
- ■ 安全上のご注意 4
- ■ はじめに 5

◆ ビデオテープレコーダーの外観
- ■ ビデオテープレコーダーの前面部 6
- ■ ビデオテープレコーダーの後部 6
- ■ 表示窓の各部名称 7
- ■ リモコン 7

◆ ビデオテープレコーダーについて
- ■ ワールドワイドVCRの背景 8
- ■ ワールドワイド・テレビ・カラーシステム 8
- ■ マルチシステムVCR対ワールドワイドVCR 9
- ■ ワールドワイドVCRの方式変換 10
- ■ ワールドワイドVCRのテープ変換（方式変換） 11
- ■ VCRの接続 13
- ■ VCRとテレビの接続 14

◆ ビデオテープレコーダーの設定
- ■ リモコン乾電池の入れ方 15
- ■ 初期設定 15
- ■ ユーザー設定1の設定 16
- ■ ユーザー設定2の設定 16
- ■ 日付と時間の設定 17
- ■ 画面情報の表示 17
- ■ VCRのRF出力システムの設定 18
- ■ RF 出力チャンネルの設定 19
- ■ チャンネルを自動設定するには 20
- ■ チャンネルを手動設定するには 21
- ■ チャンネルを配列/削除するには 21

◆ テレビ番組の録画
- ■ ビデオテープの選択 22
- ■ 録画スピードの選択 22
- ■ 録画したビデオテープの保護 22
- ■ 録画 23
- ■ 一時録画停止 23
- ■ ワンタッチ録画を使用した番組録画 24
- ■ 予約録画するには 25
- ■ G-CODE録画 26
- ■ G-CODE録画の修正 27
- ■ 予約録画の確認 28
- ■ 予約録画のキャンセル 28

◆ 再生
- ■ ビデオテープの再生 29
- ■ 再生システムモードの選択 29
- ■ ステレオ放送の受信 30
- ■ SQPB （S-VHS簡易再生） 31
- ■ 手動トラッキング調整 31
- ■ 画質調整 32
- ■ オーディオ出力モードの選択 32

目次(cont.)

JA

◆ 巻戻しと早送り
- ビデオテープの巻戻しと早送り..... 33
- スローモーション再生..... 33
- コマ送り再生..... 34
- 速度を変えて再生(可変速再生)..... 34

◆ 特別機能
- ストロボ..... 35
- アート..... 35
- モニター..... 35

◆ インデックスサーチ
- インデックス番号でサーチする。..... 36
- テープカウンターの使用..... 37

◆ 特殊な録画機能
- アッセンブル編集機能 38
- 他の機器との接続..... 39
- 他のVCRまたはビデオカメラからの録画 40
- テレビ・システムの変換 41
- 再生変換..... 41
- 変換録画..... 42
- Hi-Fiオーディオ・システム 43
- オーディオ・ダビング 44
- ＦＭ同時放送番組録画 45

◆ 他の機能と知っておきたいこと
- VCRのロック..... 46
- VCRのリセット 46
- 仕様..... 47

◆ 問題の解決
- 問題と対策 48

◆ 用語集
- 各用語の説明 49

◆ 世界放送システム..... 50

◆ 国際サービスネットワーク 51

マーク

押す

離す

重要

注意

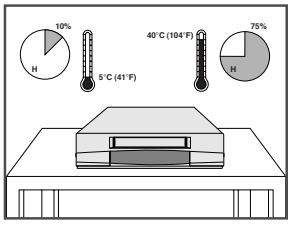
① = ステップナンバー

安全上のご注意

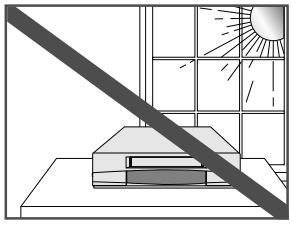
JA

このビデオレコーダーを使用するに際し、以下のことをお守りください。

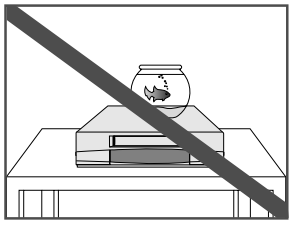
このマークはこの製品の中には危険な電圧があることを意味しています。
このビデオレコーダーを開けないでください。



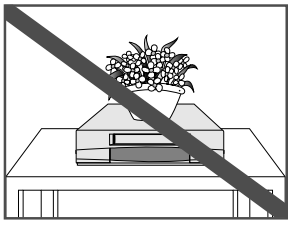
ビデオレコーダーを５℃以下また40℃以上の極端な温度条件では使用しないでください。また10％以下75％以上の湿度状態でビデオレコーダーを使用しないでください。



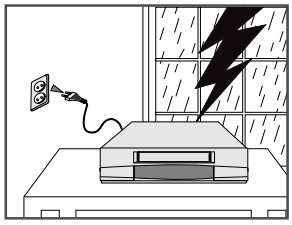
直射日光が当たるところではビデオレコーダーを置かないでください。



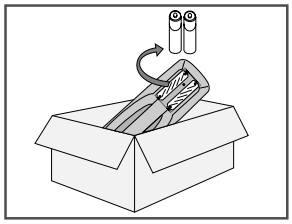
ビデオテープレコーダーの上に水などの液体を置かないで下さい。



ビデオテープレコーダーやリモコンの上に物を載せないで下さい。



嵐や雷などの悪天候の時には、ビデオテープレコーダーのコンセントを外して下さい。



リモコンを長時間ご使用にならない場合は、乾電池を取り外して、湿気のない涼しいところに保管して下さい。

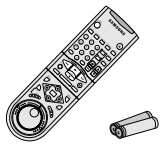
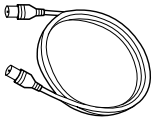
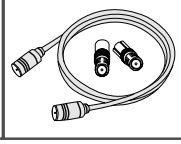
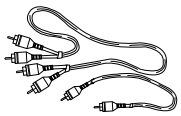
この製品は産業用の物ではありません。

はじめに

JA

この度はSAMSUNGビデオテープレコーダーをお買いあげくださいまして、まことにありがとうございます。
このビデオレコーダーの他に以下の付属品がそろっているか確認してください。

(EUROPE...) (日本)

リモコン (AC59-00010D) 単３電池 (AC43-12002H) 	取扱説明書 (AC68-01986A) 	ヨーロッパ 同軸ケーブル (AC39-42001L) 	日本 同軸ケーブル (AC39-42001J) RFアダプター (M:3705-001095 F:3705-001096) 	RCAケーブル （オーディオ） (AC-39-42001U) RCAケーブル（ビデオ） (AC39-22017Z) 

取扱説明書には、設置のしかたやビデオテープレコーダーの使用に関する大切な内容が書かれています。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

取扱説明書は次のような構成になっています。

- *ステップごとに機能の使い方を説明しています。*
- *このマニュアルに使用された専門用語の説明は49ページにあります。*
- *６ページと７ページはビデオレコーダーの前面と背面の操作部、またリモコンの操作部が表示されています。各ボタンの位置と機能がわかりやすく理解できます。*

ビデオテープレコーダーを準備します。

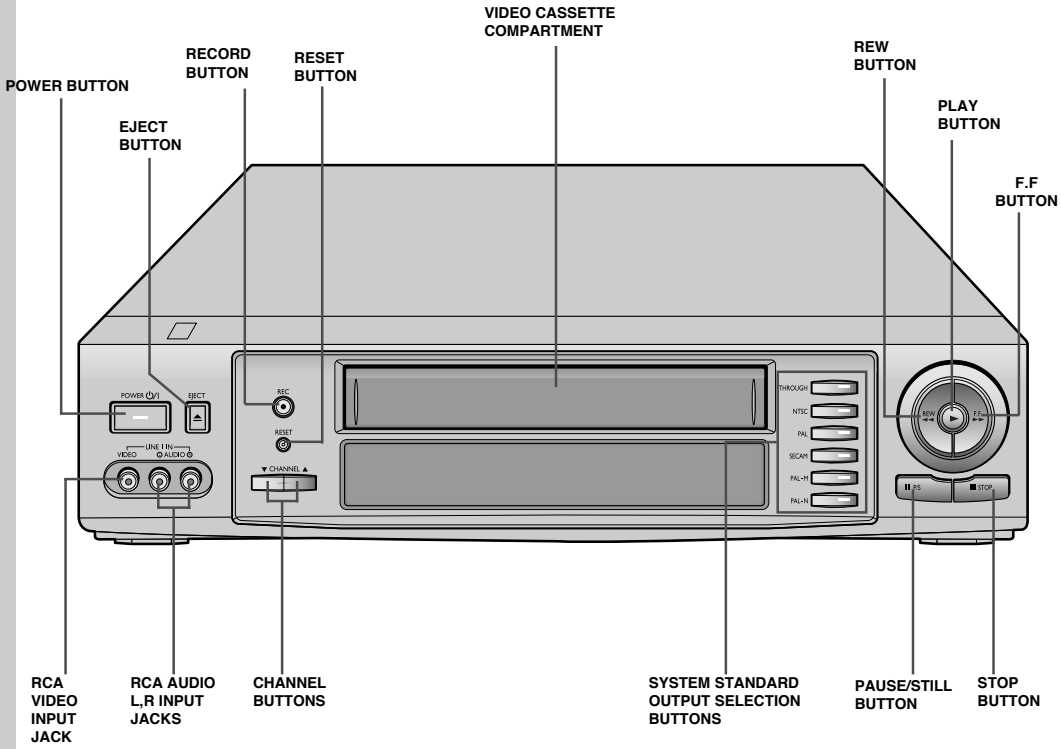
ビデオテープレコーダーをお使いになる前に、以下のことを準備してください。

- *リモコンに乾電池を入れます。*
- *ビデオテープレコーダーとテレビを接続します。*
- *テレビ画面に表示される日付と時間を設定します。*
- *チャンネルを設定します。*

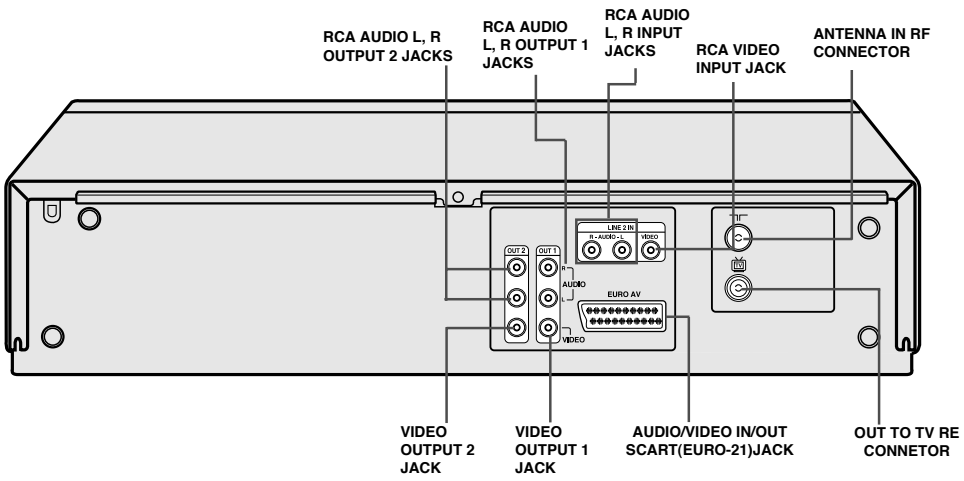
お使いになる前に上記の準備を行ってから、取扱説明書の順に従って操作を行って下さい。

JA

ビデオテープレコーダーの前面部

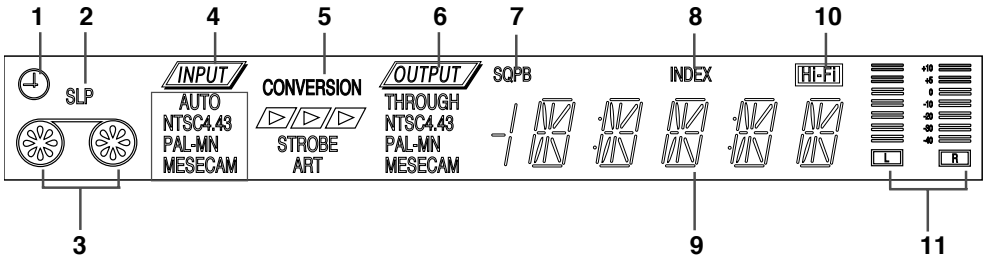


ビデオテープレコーダーの後部



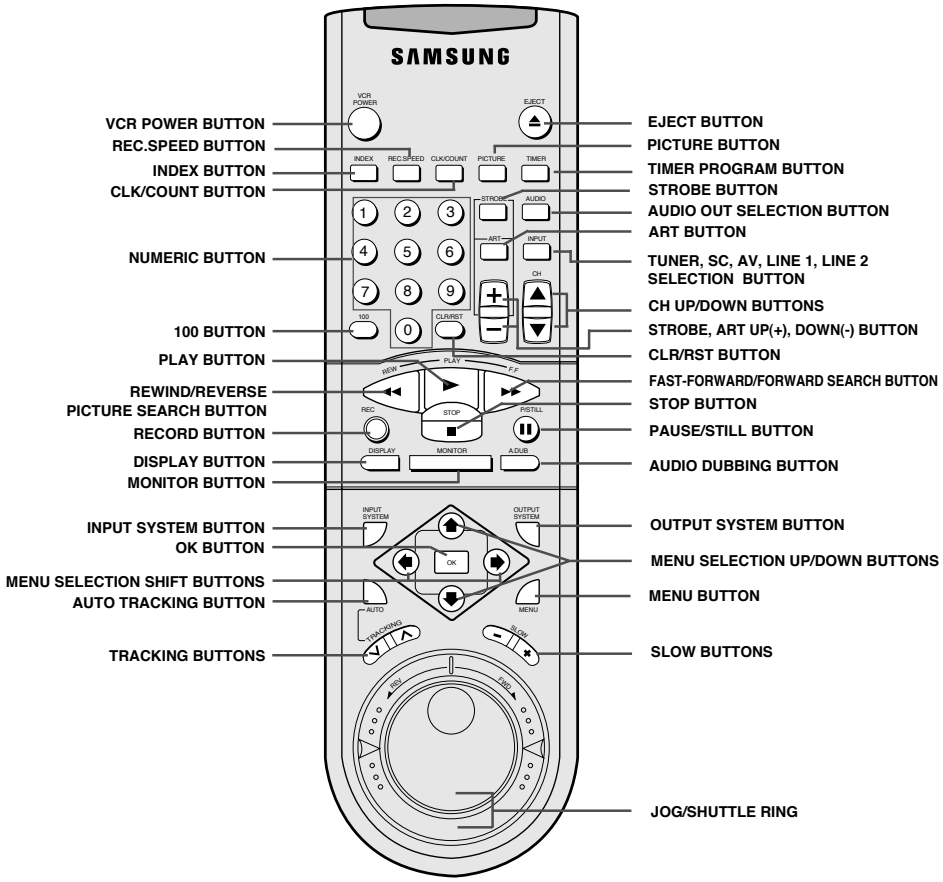
JA

表示窓の各部名称



1	タイマーインジケーター	**5**	変換インジケーター	**9**	多機能ディスプレイ
2	録画速度インジケーター	**6**	出力選択インジケーター	**10**	ハイファイ（Hi-Fi)インジケーター
3	ビデオテープIN/OUT インジケーター	**7**	SQPBインジケーター	**11**	オーディオレベルインジケーター
4	入力選択インジケーター	**8**	インデックスインジケーター		

リモコン



JA

ワ-ルドワイドVCRの背景

"ビデオを通し、世界中とのコミュニケーション"

今やビデオレコーダーは、ビジネスまた家庭の娯楽に使用され、メディアとコミュニケーションツールとしてかかせないものとなっています。またビデオカメラの登場はホームビデオの制作ができるようになり、ますますビデオを活用する範囲が広がっています。

ビデオコミュニケーションが世界的なメディアになっている一方、世界中の異なったテレビ放送システムがビデオテープの互換を妨げています。

SAMSUNG SV-9000Wは優れたデジタル技術を用い、異なるテレビ放送システムの不適合を認識し、世界中どこでも各電圧に対応し、またどんなVHSテープでもご利用いただけるビデオレコーダーです。

ワ-ルドワイド・テレビ・カラーシステム

多くの国は異なったテレビ信号フォーマットを用いております。普通は異なった信号フォーマットのために再生や録画はできません。このビデオテープレコーダーは、どんなテープの信号フォーマットでも、フォーマットしたい方式に変換することによって、世界中のビデオテープをご覧になることができます

ＴＶカラーシステムの比較

<table>
<tr><th></th><th>NTSC</th><th>NTSC4.43</th><th>PAL-M</th><th>PAL</th><th>PAL-N</th><th>SECAM</th><th>MESECAM</th></tr>
<tr><td>スキャニング ラインの番号</td><td colspan="3">525</td><td colspan="4">625</td></tr>
<tr><td>field周波数</td><td colspan="3">60Hz</td><td colspan="4">50Hz</td></tr>
<tr><td>line周波数</td><td colspan="3">15.734KHz</td><td colspan="4">15.625KHz</td></tr>
<tr><td>カラー信号変調方式</td><td colspan="5">副搬送波抑圧直角変調</td><td colspan="2">FM調整</td></tr>
<tr><td>カラー信号周波数</td><td>3.579545 MHz</td><td>4.433619 MHz</td><td>3.575611 MHz</td><td>4.433619 MHz</td><td>3.582056 MHz</td><td colspan="2">DB 4.25MHz
DR 4.40625MHz</td></tr>
<tr><td>Burst信号</td><td colspan="2">固定位相</td><td colspan="3">1H毎逆転</td><td colspan="2">DR DB 変更</td></tr>
</table>

国別テレビカラーシステムの分類

- NTSC　：韓国、アメリカ、カナダ、日本、台湾、フィリピン
- PAL　：イギリス、ドイツ、西ヨーロッパ、中国、シンガポール
- SECAM　：フランス、東ヨーロッパ、ロシア
- PAL-M　：ブラジル
- PAL-N　：アルゼンチン（テープはPALと同様）
- NTSC4.43　：Pseudo NTSC信号は中東でNTSCテープを使用対応（テープはNTSC3.58と同様）
- MESECAM：SECAM信号録画方式を使用するテープの名称
  再生がSECAM信号中は出力信号.

＊SECAM-L（フランス地域）を除き、SV-9000Wはワールドワイドの放送システムを認識することができます。

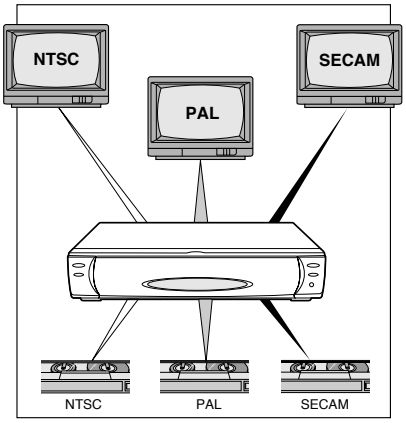
ワールドワイド放送システムはB/G、I、D/K、M、N、L。

マルチシステムVCR対ワールドワイドVCR

JA

ワールドワイドビデオレコーダーはどのようなテレビ放送システムでも録画されたテープでも再生できるマルチシステムビデオレコーダーです。

マルチシステムビデオレコーダー

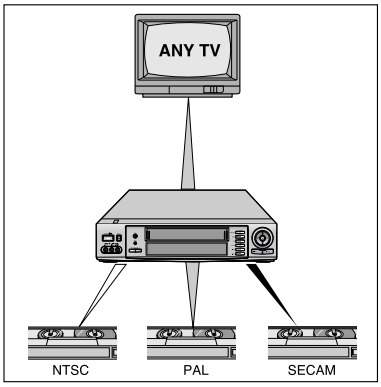


マルチシステムビデオレコーダーを使用する場合

テレビは使用中のテープの方式に対応していなければなりません。あるいはマルチシステム・テレビが必要です。

システムを変換して（たとえばNTSCからPALに）テープのダビングはできません。

SV-9000Wワールドワイドビデオレコーダー



ワールドワイドビデオレコーダーを使用する場合

テープはどんなテレビ画面でも使用できます。

たとえばテープの種類が違っていても、あらゆるテレビ放送システムでも録画が可能です。

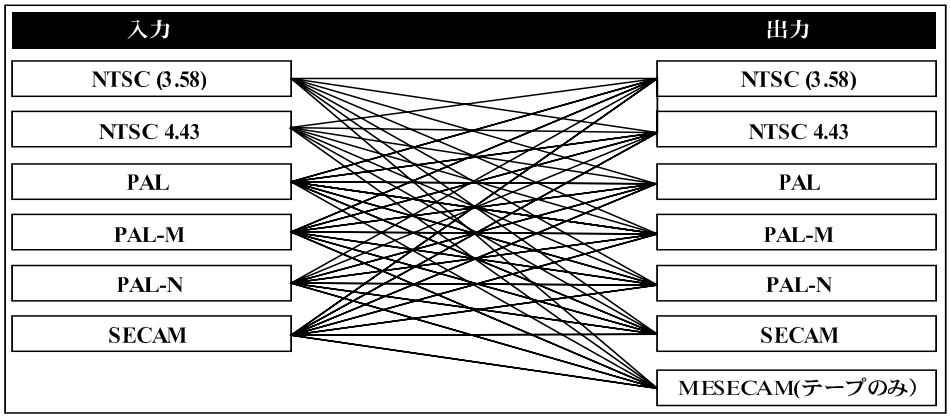
システムを変換してもテープのダビングができます。

マルチシステム・テレビを使用すると、使用テープの再生信号を自動的に識別します。
識別しない場合は、テレビの方式選択スイッチを使って、システムを正しい方式に設定してください。

ワールドワイドVCRの方式変換

JA

ワールドワイドビデオレコーダーはデジタル方式でシステム変換をします。
入力信号を出力信号に変えること（たとえばNTSCからPALへ、あるいはPALからSECAMへ変換）ができます。



I
入力選択

VCRは自動的に入力信号の正しいTV放送システムを選択する：

A. 録画するとき
入力が外部テレビ信号か2台目のビデオレコーダーか、LDPからの出力の場合

B. 再生する時は、
記録されている方式
で再生します。

II
出力選択

テープの録画するときの放送システムはビデオレコーダー出力パネルで選択することができます。

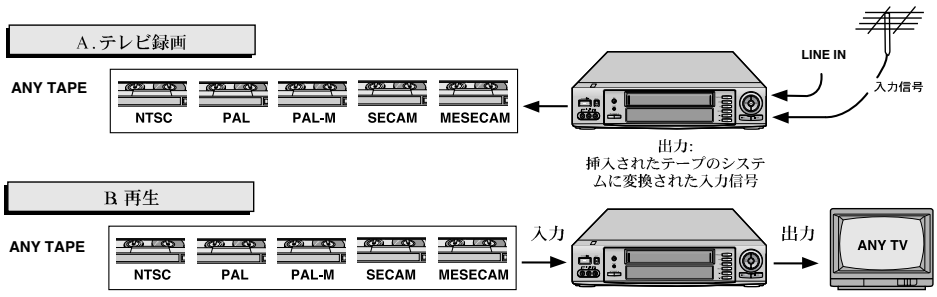
再生を行うときのテレビの放送システムはビデオレコーダー出力パネルで選択することができます。

III
システム変換

ビデオレコーダーがデジタル方式により、走査線、フィールド周波数、そしてカラー信号をステップで選択されたシステムに変換します。

好きなテレビシステムで録画します。

どの画面でも再生することができます。

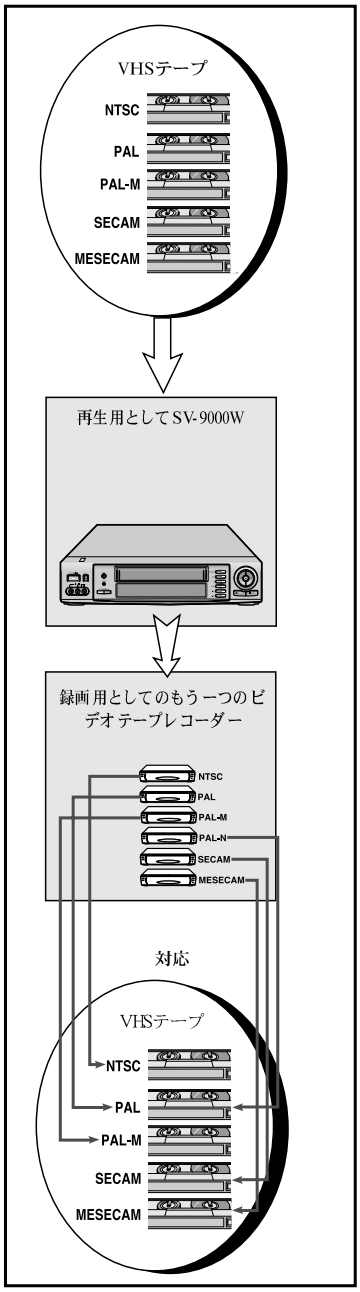


ワールドワイドVCRのテープ変換（方式変換）

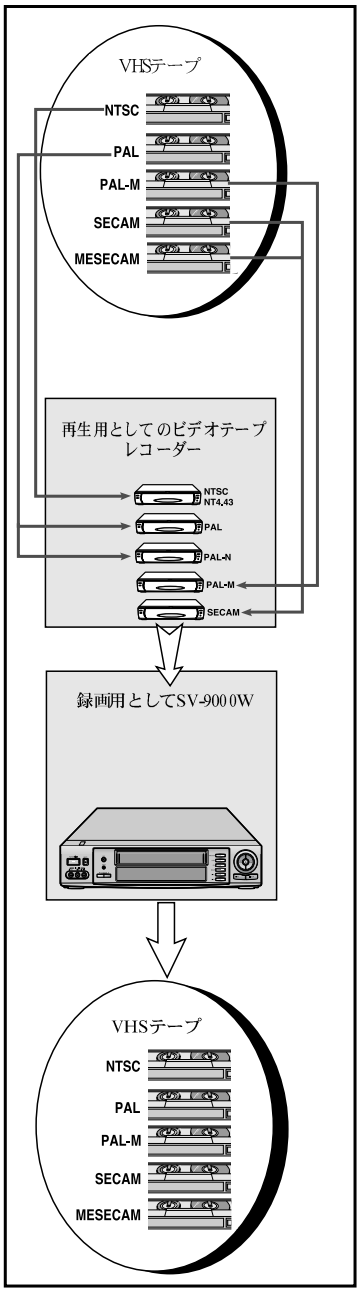
JA

ワールドワイドビデオテープレコーダーの最も便利な機能の一つが、、テープ変換（テープダビングと方式変換の組み合わせ）です。この機能により、たとえばSECAMテープをダビングし、同時にこれをPALまたはNTSCに変換することができます。

ソース側SV-9000Wを使用して
変換する場合

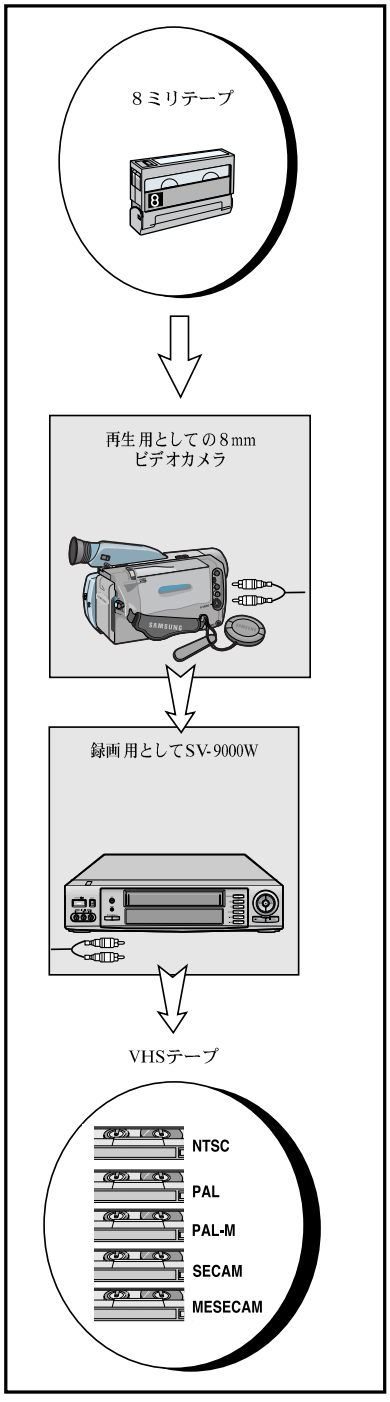


記録側にSV-9000Wを使用して
変換する場合(1)

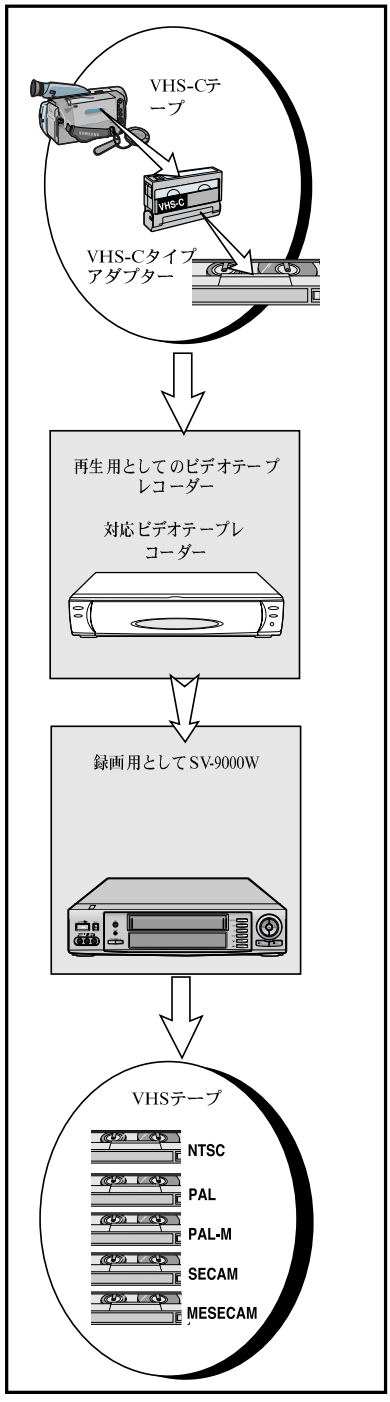


JA

記録側にSV-9000Wを使用して
変換する場合(2)



記録側にSV-9000Wを使用して
変換する場合(3)



VCRの接続

JA

このビデオテープレコーダーといろんなオーディオやまたビデオシステムと接続する場合、下の内容をご確認ください。

- *本機で使用できるコネクターのタイプ*
- *本機を常時接続するものと一時的に接続するもの。(ビデオカメラ等)*

このビデオテープレコーダーは下のようなコネクターがあります。

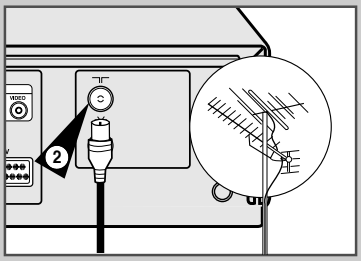
コネクター	場所	タイプ	方向	用途
AV	Rear	SCART	In/Out	◆ テレビ
LINE	Rear	Audio/Video RCA	Out	◆ テレビ ◆ 他のビデオテープレコーダー
LINE 1	Front	Audio/Video RCA	In	◆ オーディオシステム ◆ ビデオカメラ ◆ 他のビデオテープレコーダー
LINE 2	Rear	Audio/Video RCA	In	◆ オーディオシステム ◆ ビデオカメラ ◆ 衛星放送受信 ◆ 他のビデオテープレコーダー
テレビ出力	Rear	75 Ω (同軸)	Out	◆ テレビ
アンテナより受信	Rear	75 Ω (同軸)	In	◆ アンテナ ◆ ケーブルテレビネットワーク

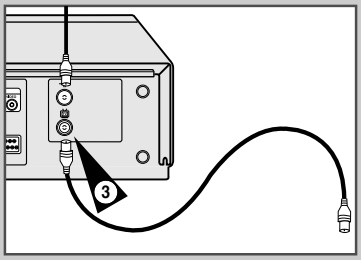
☛ このビデオテープレコーダーとオーディオやビデオシステムと接続するときは、スイッチを切っておきます。

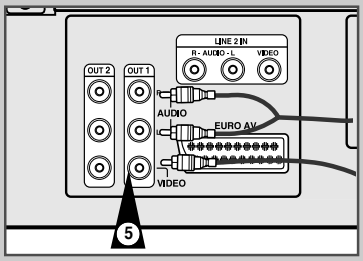
安全にご使用頂くためにも、接続する製品の取扱説明書をよくお読みください。

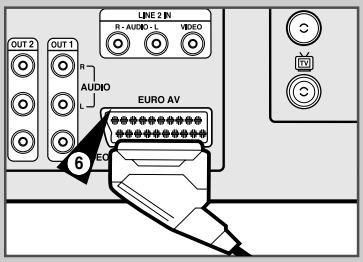
VCRとテレビの接続

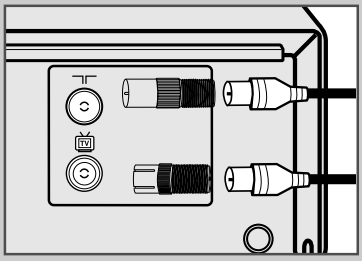
JA











一般テレビ放送またケーブルテレビから番組を受信するには、下のソースから信号を受信します。

- *屋外アンテナ。*
- *屋内アンテナ。*
- *ケーブルテレビシステム。*

ビデオテープレコーダやテレビの電源を切ってから、ケーブルを接続してください。

1 75Ω同軸ケーブルをテレビから外します。

2 ビデオテープレコーダーの背面にある ⌐¬ のマーク75Ωの同軸ソケットにケーブルを接続します。

3 ビデオテープレコーダーの TV に同軸ケーブルを接続します。

4 同軸ケーブルのもう一方の端をテレビのアンテナ用のコネクターに接続します。

5 ビデオテープレコーダーの出力ソケット(OUT1またOUT2)にRCAケーブルを接続します。

➢ オーディオのカラーコードとビデオIn/Outケーブルに注意します。

6 ビデオテープレコーダーの背面のEURO AVソケットにSCARTケーブルを接続します。 (テレビにEURD AVソケットがある場合)

7 テレビのコネクターにRCAケーブルかSCARTケーブルのどちらかを接続します。

- 選択された接続のタイプに関係なく、同軸ケーブルは接続してください。もし同軸ケーブルが接続されていなかった場合、ビデオテープレコーダーのスイッチが入っていないとき、画面には何の画像も現れません。

* 注意：
必要に応じて、RF接続をするときは、RFアダプターをご使用ください。(NTSC/PAL-M地域)

JA

リモコン乾電池の入れ方

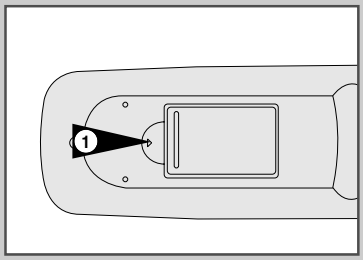
以下のような状態がみられるときには、リモコンに乾電池を入れるか、または取り替えてください。

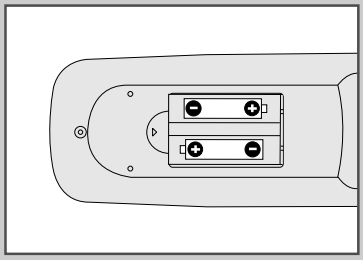
- *ビデオテープレコーダーが購入した場合、また*
- *リモコンが正しく作動しなくなった場合*

1 矢印の方向につまみを押し、リモコンの裏面にある電池ボックスのカバーをはずします。

2 単三電池 2本を挿入します。
- ＋、－に注意して挿入してください。
- カバーを元の位置に戻します。

3 リモコンの後ろのカバーをパチンと押してはめます。





初期設定

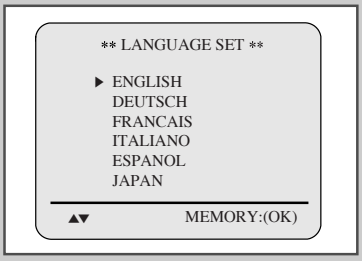
ビデオレコーダーのコンセントが差し込まれると、自動的に初期設定メニューを表示します。

1 ビデオレコーダーのコンセントを差し込みます。
結果: ランゲージ設定が表示されます。

2 言語を選択して ▲, ▼ を押してOKボタンを押します。
結果: COUNTRY設定画面が表示されます。

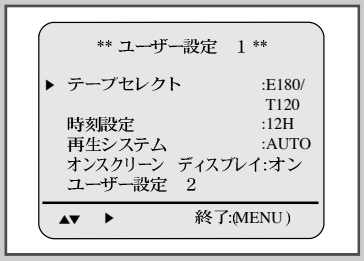
3 ▲, ▼, ▶ ボタンを押して国を選択します。
結果: 国のリストが表示されます。

4 ▲, ▼, ▶ ボタンを押してOKボタンを押し、国を設定します。
➢ もし国のリストに所在国名が表示されたなかった場合 、OTHERSを選択します。



JA

ユーザー設定1の設定



ユーザー設定は初期設定になっています。ユーザー設定を変更したいときには、以下の方法で行ってください。

1 リモコンのメニューボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ▲, ▼, ▶ ボタンを押してユーザー設定を開きます。
結果: ユーザー設定1が表示されます。

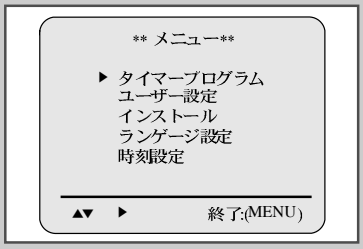
3 ▲, ▼, ▶ ボタンを押して、ユーザー設定 1 の項目を開きます。

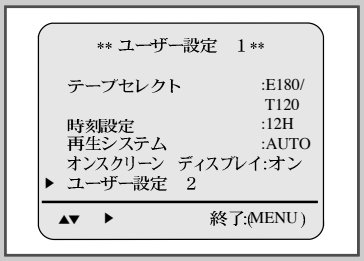
4 下のように項目を変更します。

* ユーザー設定 1

項目	使用目的	説明
テープセレクト	テープの長さを選択	テープ残量表示の為に、録画するテープの長さを設定
時刻設定	12H/24Hモード	希望の時刻表示を選択
再生システム	再生テープシステム選択	自動で録画された方式を認識しますがもし認識できなかった場合は取扱説明書に従い再生システムを選択します。
オンスクリーンディスプレイ	OSD表示ON/OFF	初期設定はON.
ユーザー設定2	ユーザー設定2 選択	ユーザー設定2 へ選択

ユーザー設定2の設定





1 リモコンのメニューボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ▲, ▼, ▶ ボタンを押してユーザー設定を選択します。
結果: ユーザー設定 1 が表示されます。

3 ▲, ▼, ▶ ボタンを押してユーザー設定 2 を選択します。

4 ▲, ▼, ▶ ボタンを押してユーザー設定 2 メニュー項目を開きます。

5 項目を下のように変更します。

ユーザー設定 2

項目	使用目的	説明
カラー	カラーか白黒を選択	初期設定はオン。 カラーオフモードは白黒再生中やまた変換モードの時に起こる色のにじみはカラーオフモードを選択します。
ブルースクリーン	ブルースクリーンオン/オフ	初期設定はオン、ブルースクリーンによって問題発生時はオフを選択します。
SQPB	S-VHS 簡易再生	31ページを参照
ユーザー設定 1	ユーザー設定 1 を選択	ユーザー設定 1 を選択します。

JA

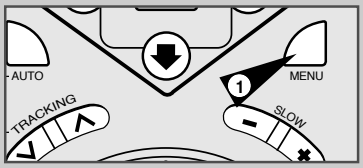
日付と時間の設定

ビデオレコーダーには12/24時間時計表示とカレンダーがついています。

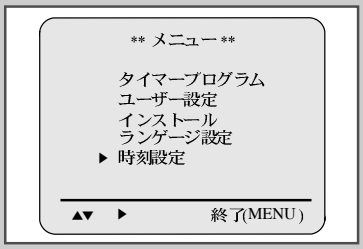
- *番組を自動予約録画できるよう、ビデオレコーダーをあらかじめセットします。*

次のような場合は、日付と時間を設定してください。

- *ビデオテープレコーダーを購入したとき。*
- *60分以上電源が切られたままになっていたとき。*



1 リモコンのメニューボタンを押します。
結果: プログラム・メニューが表示されます。



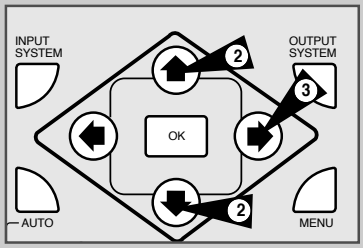
2 ▲ または ▼ ボタンを押してカーソルを時刻設定オプションに合わせます。

3 ▶ ボタンを押し、このオプションを選択します。
結果: 時計設定メニューが表示されます。

4 ◀ または ▶ ボタンを押して、時、分、日、月、そして年を選択します。
結果: 選択したオプションが点滅します。

5 ▲ または ▼ ボタンを押して、値を決めます。
結果: 自動的に曜日が表示されます。

➢ ▲ または ▼ ボタンを押し続けると、値がもっと早くスクロールします。



6 完了したら、MENUボタンを二度押し、メニューを消します。

画面情報の表示

このビデオレコーダーはテレビとビデオレコーダーの情報を表示することができます。
(項目、タイマープログラム機能、画像は除外)

1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

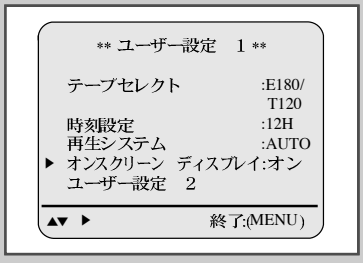
2 ▲ や ▼ ボタンを押して、カーソルをユーザー設定オプションに合わせます。

3 ▶ ボタンを選択してこのオプションを開きます。
結果: ユーザー設定 1 メニューが表示されます。

4 ▲ や ▼ ボタンを押して、カーソルをオンスクリーンディスプレイオプションに合わせます。

5

オン/オフの切替は	◀ や ▶ のボタンを押します。
情報を画面に表示	オンが表示されます
情報を画面に表示しない	オフが表示されます。



6 設定を終了したら、MENUボタンを2回押してメニューを終了します。

VCRのRF出力システムの設定

JA

ビデオテープレコーダーRF OUTとチャンネルはRF同軸ジャックで SV-9000Wとテレビを接続するために使用します。

RF OUTシステムは国別によって自動的に設定されます。
(15ページを参照)

➢ JAPANで設定した場合、RF OUTシステムは自動的にJAPANシステムに設定されます。

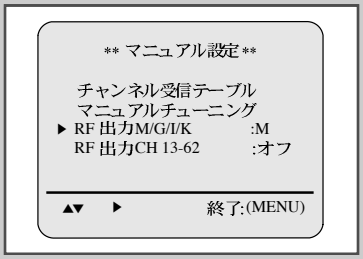
国を設定してから、画像の歪み、音が出ない場合は、RF OUTシステムとチャンネルは取扱説明書を参考に設定する必要があります。

RF OUTシステムの変更は下の通りです。

テレビ放送システム	RFシステム	国名
M	M	アメリカ, カナダ, 韓国, 日本, ブラジル --
N	M	ウルグアイ, アルゼンチン,--
B/G	G	ドイツ, イタリア, スペイン,--
I	I	イギリス, 香港,--
D/K	K	中国, ロシア, --

➢ 国の放送システムをご覧になりたい場合は、世界放送システムを参照してください。(50ページを参照)

**SECAM-L（フランス）はこのビデオテープレコーダーは使用できません。*



1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ▼ と ▶ ボタンを押して、インストールを選択します。
結果: インストールメニューが表示されます。

3 ▼ と ▶ ボタンを押して、マニュアル設定を選択します。
結果: マニュアル設定メニューが表示されます。

4 ▼ ボタンを押して、カーソルがRF出力システムに合わせます。

5 ▶ や ◀ ボタンを押して、RF出力システムを変更します。
結果: RF出力システムが表示されます。

RF 出力チャンネルの設定

JA

RF OUTの初期設定はオフ(off)です。
テレビでRF OUTコネクターからの信号を見るには、テレビチャンネルと同一になるようにビデオテープレコーダーのRF OUTチャンネルをセットする必要があります。
(RF出力チャンネル設定は、13-62チャンネルです。)

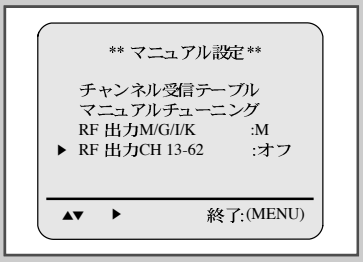
1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ⬇ と ➡ ボタンを押してインストールを選択します。
結果: インストールメニューが表示されます。

3 ⬇ と ➡ ボタンを押してマニュアル設定を選択します。
結果: マニュアル設定メニューが表示されます。

4 ⬇ ボタンを押してカーソルがRF 出力CH に移動します。

5 ➡ や⬅ボタンを押してRF 出力CHを変更します。
結果: RF 出力チャンネルが変更されます。

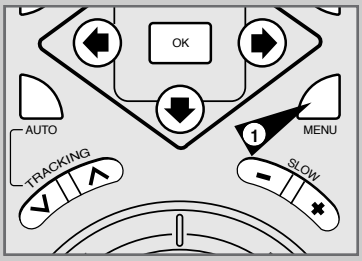


画像が現れない、また画像が干渉を受けている場合は、ビデオテープレコーダーのRF 出力チャンネルを変更して下さい。
テレビ側のチャンネル設定を上記のRF 出力チャンネルに変更して下さい。

高画質の画像やいい音を楽しむために、RCAケーブルを利用してテレビとビデオテープレコーダーを接続してください。
(ご使用のテレビがRCA 入力使用が可能の場合)

チャンネルを自動設定するには

JA



このビデオテープレコーダーはテレビ放送を受信できるチューナーが組み込まれています。

ケーブルテレビの受信もできます。チューナーを通し、受信したチャンネルを設定する必要があります。この機能は次のようなことができます。

- *自動*
- *手動（21ページを参照）*

1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果; プログラムメニューが表示され、カーソルが自動的に自動設定オプションに移動します。

2 ➧ボタンを押して、自動設定を選択します。

3 OKボタンを押して、自動設定をスタートしま す。
結果; ビデオテープレコーダーディスプレイにはAUTOが点灯します。

➢ 自動的に検索され、チャンネルの番号がビデオテープレコーダーに保存されます。

4 AUTO TUNINGを終了して、MENUボタンを押します。

➢ 自動設定が終了すると、チャンネルが重複している場合があります。このような場合には受信のよい方を選択して、受信の悪い方は削除してください。(21ページ参照)

JA

チャンネルを手動設定するには

このビデオテープレコーダーはテレビ放送を受信できるチューナーが組み込まれています。

ケーブルテレビの受信もできます。チューナーを通し、受信したチャンネルを設定する必要があります。この機能には下のようなことができます。

- ◆ *自動（20ページを参照）*

1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ▲ と ▼ ボタンを押して、カーソルをインストールオプションに 合わせます。

3 ▶ボタンを押して、インストールオプションを選択します。
結果: インストールメニューが表示されます。

4 ▲と▼ ボタンを押して、カーソルをマニュアル設定オプションを選択します。

5 ▲と▼ ボタンを押して、カーソルをマニュアルチューニングオプショ ンを選択します。

6 ◀ や ▶、▲、▼ CHボタンを押してメモリーしたいチャンネルを選択します。

表示されたチャンネルを保存したい場合	◆ OKボタンを押して、現在のチャンネルをメモリーします。

7 OKボタンを押して記憶します。
結果: 選択されたチャンネルはメモリーされます。

チャンネルを配列/削除するには

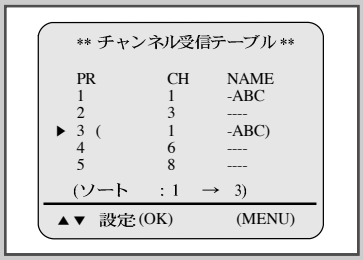
このVCRは受信したチャンネルを必要によって順番に配列または削除することができます。 この機能には下のようなことができます。

1 上記のSTEP4のマニュアル設定でチャンネル受信テーブルオプションを選択します。
結果: チャンネル受信メニューが表示されます。

2 チャンネル名を ▶、▲、▼ ボタンを使って設定します。
(英語のみ可能)

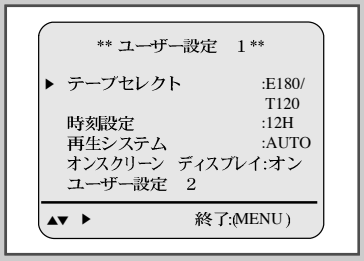
3 ▼ ボタンを使って削除したいチャンネルを選択後CLR/RSTボタンを押します。
結果: 選択したチャンネルは削除されます。

4 ▲、OKボタンを使って移動させるチャンネルを選択後▲、▼、OKボタンを使って移動したい位置に移動します。
結果: チャンネル配列したい順番に配列されます。



JA

ビデオテープの選択



ビデオテープの残り時間を表示するには、挿入されたビデオテープのタイプを表示する必要があります。

1 リモコンのMENUを押します。
結果: プログラム・メニューが表示されます。

2 または ▲, ▼ ボタンを押して、カーソルをユーザー設定オプションに合わせます。

3 または ▶ ボタンを押して、このオプションを選択します。
結果: カーソルがテープセレクトオプションをセットします。

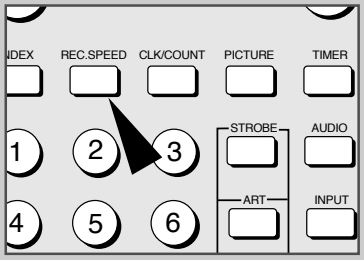
4 正しいビデオテープの長さが表示されるまで、必要な回数だけまたは ◀, ▶ ボタンを押します。

E180/T120 → E240/T160 → E300 → E260/T180 → E180/T120

5 メニューボタン(MENU)を二回押して、メニューを終了します。

録画スピードの選択

Type	Recording Time	
	PAL/ SECAM	NTSC
E-180/T120	180 mins	120 mins
E-240/T160	240 mins	160 mins
E-260/T180	260 mins	180 mins
E-300	300 mins	



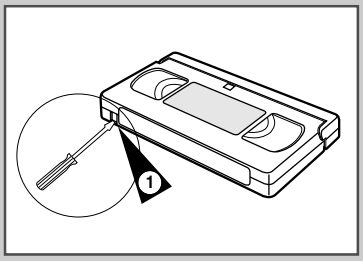
2種類の速度でビデオテープに録画できます。

PAL/SECAM/MESECAM	NTSC/PAL-M
◆ SP（標準録画） ◆ LP（長時間録画）	◆ SP（標準録画） ◆ SLP（スーパー長時間録画）

長時間録画やスーパー長時間録画モード:
◆ *画質が少し低下します。*

ビデオテープに録画するには	リモコンのREC.SPEEDボタンを押します。
標準録画モード	SPが表示されます。
長時間録画モード	LPが表示されます。PAL/SECAM/MESECAM)
スーパー長時間録画モード	SLPが表示されます。(NTSC/PAL-M)

録画したビデオテープの保護



ビデオテープには、消去防止のため、再録画防止用のツメがあります。このツメを折ると、ビデオテープに録画することができません。

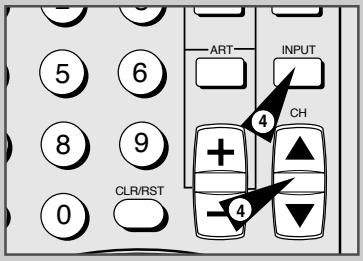
1 誤って再録画しないよう、小型のドライバーを使用して、ツメを折ってください。

2 一度ツメを折ったビデオテープを使用して、録画をしたい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープを貼ってご使用ください。

JA

録画

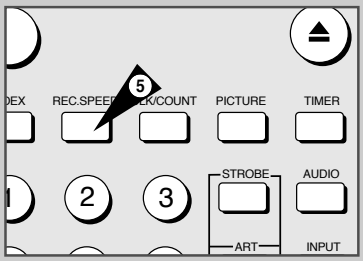
番組を録画する前に、録画したいチャンネルをセットします。（他のビデオソースから録画する以外）セットの仕方は20ページ、21ページを参照してください。



1 テレビのスイッチを入れます。

2 録画中の番組をモニターとして見る場合は、テレビ側は、AV 入力を選択します。

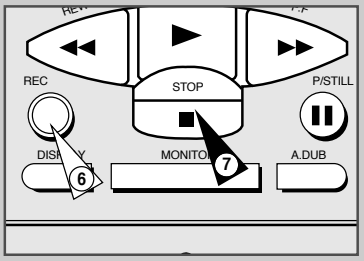
3 録画するビデオテープを挿入します。
結果: 自動的にビデオレコーダーのスイッチが入ります。



4
- CHボタン（▲ または▼）を使って、録画するチャンネルを選択します。
- 衛星チューナーや他のビデオソースから録画するには、入力(IN PUT)ボタンを使用してAVソースを選択します。

結果: チャンネル番号が表示され、番組がテレビに映ります。

5 REC.SPEEDボタンを必要な回数だけ押して、お好みの録画モードを選択します。



6 RECボタンを約 1 秒間押して録画をスタートします。
結果: 録画インジケータがテレビとビデオレコーダーの画面に現れます。インデックスがテープに記録されます。(36 ページを参照)

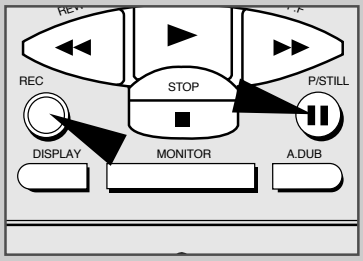
7 録画を停止するには、STOP(■)ボタンを押します。

- 録画開始時に、ビデオテープが出てきてしまう場合は、ビデオテープのツメが折れているかどうか、チェックしてください。
- 録画中にテープの最後まで巻き終わってしまった場合は、ビデオテープが自動的に巻き戻ります。

一時録画停止

テレビのコマーシャルなどを録画したくないときや、入力信号を変えたいときには、一時的に録画を停止することができます。（ポーズモード）

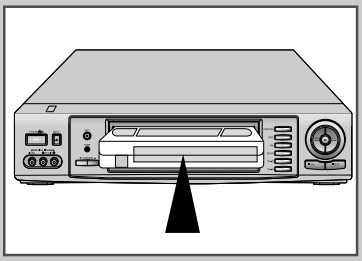
一時的に録画を停止するには	P/STILL ボタンを押します。
録画を再開するには	P/STILL ボタン、またはRECボタンを押します。

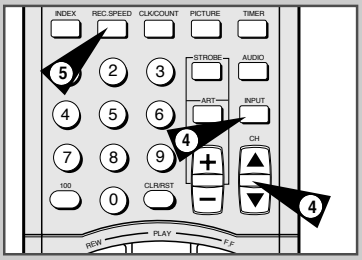


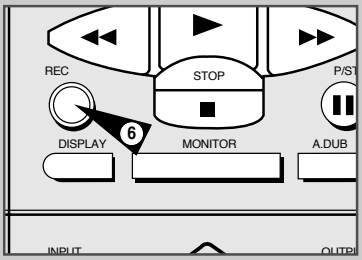
ビデオテープレコーダーが10分間以上ポーズ状態の場合は、ビデオテープとビデオヘッドを保護するために自動的に録画が解除されます。

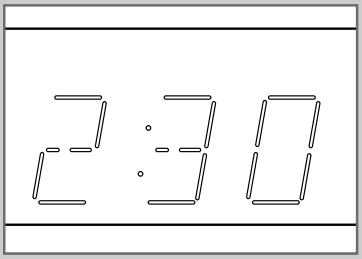
ワンタッチ録画を使用した番組録画

JA









この機能を使用すると、30分単位で録画することができ、終わると自動的に停止します。

1 テレビのスイッチを入れます。

2 テレビのAV入力を選択します。

3 録画するビデオテープを挿入します。
結果: ビデオレコーダーは自動的に電源が入ります。

4
- CH（▲ または▼ ）ボタンを使用して録画する場所を選択します。
- 衛星チューナーや他のビデオソースから録画する場合にはINPUTボタンを使用してAVソースを選択します。

結果: チャンネル番号が表示され、番組がテレビに映ります。

5 REC.SPEEDボタンを押してお好みの録画スピードを選択します。

6 1秒ぐらいRECボタンを押すと、録画がスタートします。
結果 録画インジケータがテレビとビデオレコーダーディスプレイに表示されます。インデックスがテープの記録されます。(30ページを参照)

7 RECボタンを数回押すと、次のように録画時間が長くなります。
- 30分間隔で4時間まで。
- また1時間間隔で9時間まで。

結果: 時間の長さはテレビとビデオレコーダの画面に表示されます。選択された番組は設定した時間の間、記録されます。選択された時間が終わったときには、ビデオレコーダが停止したら自動的に記録されます。

7 終了前に録画をキャンセルしたいときには、電源ボタンを押します。

☛ 録画中にテープが終わったときには、録画が停止し、ビデオレコーダーが自動的に止まります。

予約録画するには

JA

タイマープログラム機能は、放送予定番組を１ヶ月前にビデオテープレコーダーに予約録画する事ができます。最高６つの番組まで予約することができます。

予約録画をする前には、日付と時間が正しく設定されているかどうかを確認してください。日付と時間の設定については17ページを参考にしてください。時間が設定されていない場合は、DATE/TIME(日付と時間）の設定機能が自動的に作動します。

1 ビデオテープを挿入して、TIMERボタンを押します。
結果: タイマー選択が表示されます。

2 ➧ ボタンを押して標準タイマーを設定します。

3 ▲ や▼ ボタンを押して録画したいチャンネルを選択します。
またSC、AV、L1やL2入力ソースを選択します。

4 ➧ ボタンを押して日付を選択します。

5 ▲ や▼ ボタンを押して、録画する日付を選択します。
➢ 毎日（毎日番組)
毎週日、毎週月……、毎週土(毎週番組）

6 ➧ ボタンを押して録画開始時刻を選択します。

7 ▲ や ▼ ボタンを押して、１時間単位で選択します。

8 ➧ ボタンを押して分を選択します。

9 ▲ や ▼ ボタンを押して、分単位で選択します。

10 ➧ ボタンを押して録画終了時刻を選択します。

11 ▲ や▼ ボタンを押して録画終了時刻を選択します。録画時間をスタートする場合も同じ方法で行ってください。

12 ➧ ボタンを押して、REC.SYSTEMを選択します。

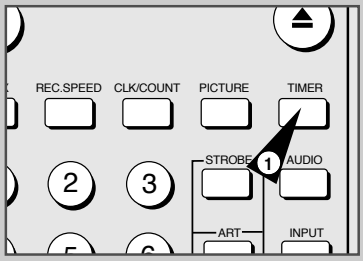
13 ▲ や▼ ボタンを押して、録画したいシステムを選択します。
初期設定はTHROUGH(スルー)です。

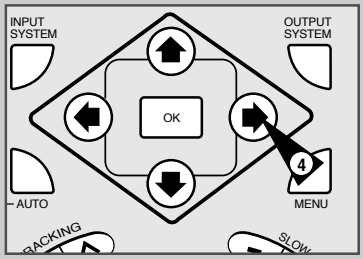
14 ➧ ボタンを押して録画速度を選択します。

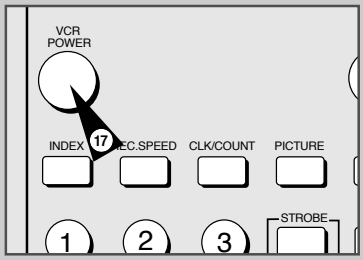
15 ▲ や▼ ボタンを押して録画スピード値を選択します。初期設定はSPです。
結果: AUTOモードを選択した場合は、ビデオテープレコーダーはテープ上のタイマー設定時間とテープの残量時間を比較します。録画するに際し、テープが充分に残っていない場合はSPからLP/SLPに自動的に変わります。

16 終了したら、MENUボタンを押します。
結果: 設定が表示され、ビデオテープレコーダーにプログラムされたと表示されます。

17 ビデオテープレコーダーのPOWERボタンを押し、タイ マーをスタートします。

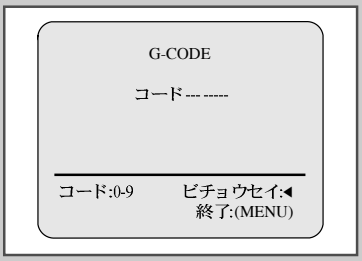


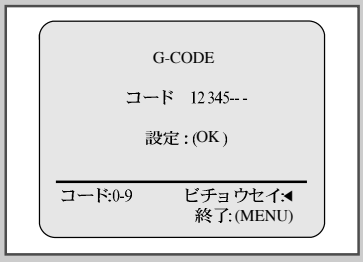




G-CODE録画

JA





デレビ番組欄にのっている番組予約番号(Gコード)を入力するだけで予約できます。Gコードは新聞、雑誌などの各番組欄に記載される8桁までの数字です。このビデオGコードをご使用になる前に、お手元のガイドチャンネルを設定する必要があります。
まず時間を設定します。(17ページ参照)

1 タイマーボタンを押して、G-CODEを開きます。
▼ と▶ ボタンを押してG-CODEを選択します。

2 番組表の中からプログラムのG-コード番号を探します。
G-コードを設定するための最大8 つの番号までを押します。
誤って入力した場合は、◀ボタンを押して直して ください。

3 コードを保存するために、OKボタンを押します。左側にチャンネル番号が表示されます。スタートと終了時間、録画日また録画速度が表示されます。
チャンネルが記憶されている状態でG-CODE機能を最初に使用する時、PRに"---"が点滅します。その時は、▼または▲ ボタンを押してPR番号を入力して下さい。
以下のような状態がみられる時は、次のページを参照して下さい。
- PR番号または時間が点滅する時
- 番組を修訂する時

4 MENUボタンを押して終了します。
録画するに際し、ビデオテープに充分余裕があるかどうかを確認します。

5 予約録画するためにはPOWERボタンを押して下ます。
結果: タイマー・インジケーター(⊕)が表示窓に現れます。
POWERボタンを押した時、テープが入っていないとタイマー・インジケーター(⊕)が点滅します。

G-CODEはGemstar Developement Corporation の登録商標です。
G-CODEシステムはGemstar Developement Corporation の承認下で生産されています。

G-CODE録画の修正

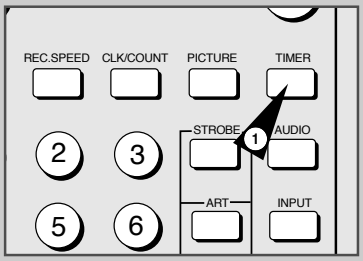
JA

番組が表示されている状態でMENUボタンを押すと、番組を変更することができます。

修正したい内容	修正方法
入力選択をチューナーからLINE1またはLINE2に切替える時	◆➡ または➡ ボタンを押して、PR部分を選択すると点滅します。 ◆INPUTボタンを押して、変更したい入力を選択します。
同じ時間の番組を毎日録画として変更する時	◆➡ または➡ ボタンを押して、 録画日部分を選択すると点滅します。 ◆⬇または⬆ ボタンを押して、毎日を選択ます。
同じ曜日の同じ時間の番組を毎週録画する時	◆➡ または➡ ボタンを押して、 録画日部分を選択すると点滅します。 ◆⬇または⬆ ボタンを押して、毎週(月-日)を選択します。
録画時間を延長する時	◆➡ または➡ ボタンを押して、 終了時刻を選択すると点滅します。 ◆⬇または⬆ ボタンを押して、終了時刻を調整します。
録画速度を変更する時	◆➡ または➡ ボタンを押して、 録画速度を選択すると点滅します。 ◆⬇または⬆ ボタンを押して、録画速度を選択します。 ● 自動:25ページ参照 ● 標準:標準速度 ● 3倍:3倍に長時間にわたって録画

JA

予約録画の確認



次のような場合、予約した録画をチェックすることができます。

- *ビデオレコーダーの設定を終了した場合*
- *どの番組を録画するかを忘れてしまった場合*

1 標準タイマーを選択してTIMERボタンを押します。
結果: 予約番組が表示されます。

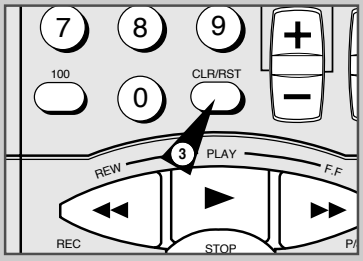
2 ▲ や▼ ボタンを押して、録画したい番組を選択します。

3 ▶ボタンを押してCHを選択します。

4 ◀ や▶ ボタンを押して、必要な値の設定をします。

5 終了したら、MENUボタンを 2 度押します。

予約録画のキャンセル



次のような場合には、番組をキャンセルすることができます。

- *間違って予約をした場合*
- *必要でなくなった場合*

1 TIMERボタンを押して、標準タイマーを選択します。
結果: 予約番組が表示されます。

2 ▲ や▼ ボタンを押してキャンセルする番組を選択します。

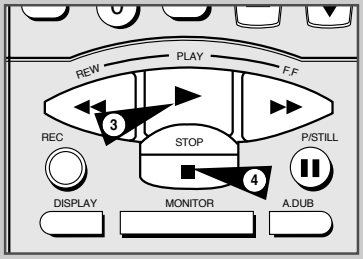
3 CLR/RSTボタンを押して選択された番組をキャンセルします。
結果: すべての録画情報は削除され、放送は録画されません。

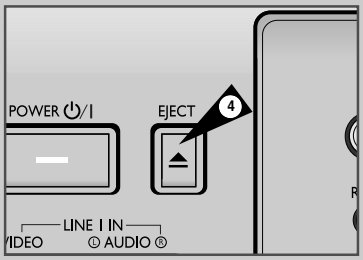
4 終了したら、MENUボタンを 2 度押します。

JA

ビデオテープの再生

この機能は録画されたビデオテープを再生します。





1 テレビとビデオテープレコーダーの電源スイッチを入れます。

2 テレビビデオチャンネルまたは外部入力を選択します。

3 再生するビデオテープを挿入します。ビデオテープのツメが折られていない状態であれば、PLAY(►)を押します。
ビデオテープは自動的に再生されます。

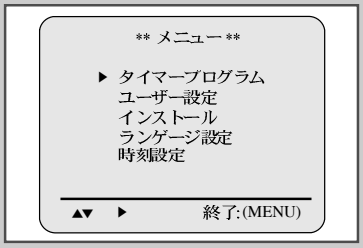
➢ テープ再生が始まるとトラッキングの最良ポイントを自動で探します。(デジタルオートトラッキング) テープの最後まで再生を行った後、自動的にテープが巻き戻されます。

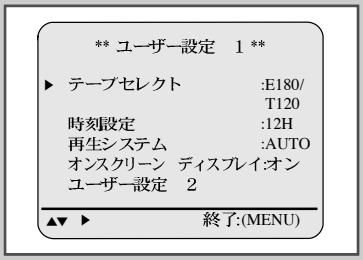
4

下記の場合	このボタンを押します。
再生を停止するには	STOP (■)ボタン.
ビデオテープを取り出すには	EJECT (⏏)ボタン.

再生システムモードの選択

SV-9000W VCR にお好みの再生システムを選択することができます。
再生中に画像や色が表示されない場合においてのみ、この機能を使うことができます。





1 リモコンのMENUボタンを押します。
結果: プログラムメニューが表示されます。

2 ▲ や▼ ボタンを押して、カーソルをユーザー設定オプションに移動します。

3 ▶ボタンを押してこのオプションを選択します。
結果: ユーザー設定1メニューが表示されます。

4 ▲ や▼ ボタンを押して、カーソルを再生システムに 移動します。

5 ◀ や▶ ボタンを押して、システムを選択します。

例 1: NTSCまたはPAL-M 再生
AUTO → NTSC → PAL-M

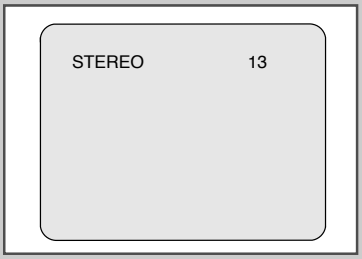
例 2: PAL、SECAM、MESECAM 再生
AUTO → PAL → SECAM → MESECAM

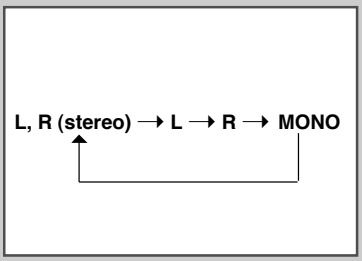
6 終了したら、MENUボタンを二回終了します。

☛ AUTO (自動) モードでエラーが生じたり 、色が出ない画像が生じた場合は、手動で再生を選択してください。

ステレオ放送の受信

JA





このビデオテープレコーダーはステレオ放送を受信し、録画することができます。
また二カ国語放送を受信することもできます。このビデオテープレコーダーはHi-Fiトラックで同じオーディオを録画することができます。

1 リモコンのオーディオ(AUDIO)ボタンを押して、ステレオを選択します。左、右、モノ(MONO)を選択することができます。

2 ステレオサウンドがあまりよくない場合は、オーディオ(AUDIO)ボタンを押し、ノイズなしのモノ(MONO)を選択します。

JA

SQPB （S-VHS簡易再生）

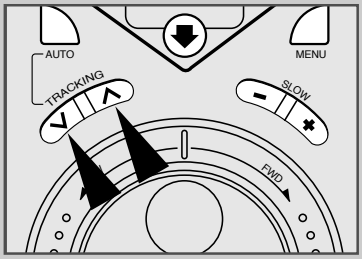
この機能はスーパーVHSフォーマットテープのみの再生で、録画はできません。

1	リモコンのMENUボタンを押して、ユーザー設定を選択します。
2	➡ や ➡ ボタンを押して、ユーザー設定2 を選択します。
3	➡ や ➡ ボタンを押して、SQPBを設定し、オンにします。

☛ もしSQPBはふつうの再生の間に対応し、ビデオ出力はひずみます。

手動トラッキング調整

この機能は最もベストな画像に調整する機能です。

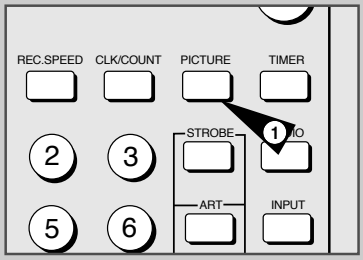


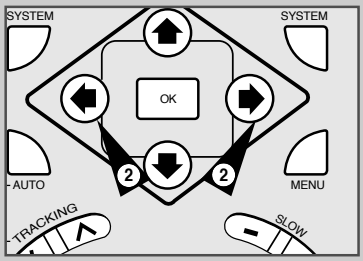
再生中にノイズや縞もようが生じるときには、TRACKING ∧ や ∨ のボタンを押して、画像を鮮明に、また安定にします。

結果:
- トラッキングバーが表示される
- 画像が調整される
- ボタンをはなすと、トラッキングバーは消えます。

JA

画質調整





画質調整機能を使用して、お好みに合わせて、画像の鮮明を調整することができます。(再生時のみ)

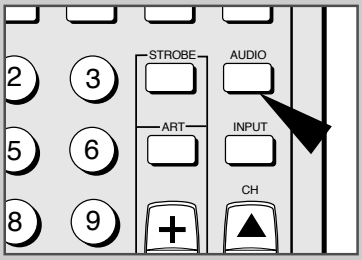
1 再生中にPICTUREボタンを押します。
結果: 画面バーが現れます。

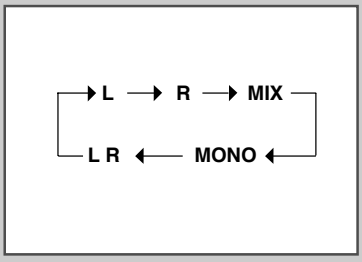
2 ◆と◆ボタンを押して、お好みの画面に設定します。

➢ 10秒以内にボタンを押さなかった場合、画面バーが自動的に消えます。

3 完了したら、PICTUREボタンを再び押します。

オーディオ出力モードの選択





サウンドがライン(LINE)出力で再生されるモードを選択することができます。以下のオプションを利用することができます。

オプション	説明
L	左のHi-Fiチャンネルでサウンドを聞くために使用します。
R	右のHi-Fiチャンネルでサウンドを聞くために使用します。
MIX	Hi-Fiとノーマルチャンネルでミックスサウンドを聞くために使用します。(例えばノーマル・オーディオ・トラックでダビングしたナレーションを同時に聞きながら、Hi-Fiオーディオ・サウンドを再生することができます。自動ダビング機能の詳しい説明については38ページと39ページを参照してください。
MONO	モノラル音声を聞くために使用します。
L R	Hi-Fiステレオ・サウンドを聞くために使用します。 ➢ Hi-Fiで録画したテープを再生するときには、MONOにして5秒たってから、サウンドをHi-Fiに切り替えます。

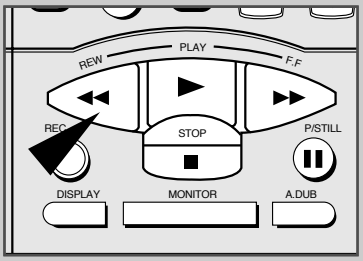
リモコンのAUDIOボタンを押す度に切替わります。

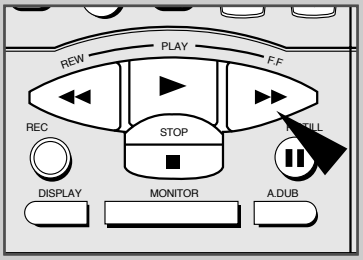
※モノラル放送受信時は、切替わりません。

JA

ビデオテープの巻戻しと早送り

- *テレビ画面を見ずにビデオテープの巻き戻しと早送りをすることができます。*
- *ビデオテープに録画した内容を前後にサーチすることができます。*





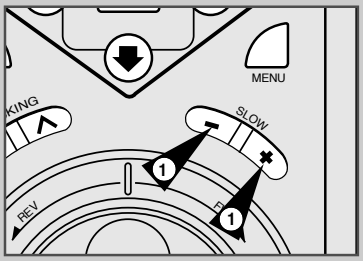
こんな時には	方法
画面を見ないでテープを巻き戻すには	ビデオテープが停止しているときにREW(◀◀)ボタンを押します。
画面を見ながらテープを巻き戻すには	ビデオテープが再生されているときにREW(◀◀)ボタンを押します。(逆サーチ機能)
逆サーチから再び再生に切り替えるには	画面が出ている状態で、ビデオテープの巻き戻し中にREW(◀◀)ボタンを押します。
画面を見ないでテープを早送りするには	ビデオテープが停止しているときにF.F(▶▶)ボタンを押します。
画面を見ながらテープを早送りするには	ビデオテープが再生されているときに、F.F(▶▶)ボタンを押します。
通常サーチから再び再生に切り替えるには	画面が出ている状態で、ビデオテープの早送り中にF.F(▶▶)ボタンを押します。

➢ ビデオテープが終了すると、自動的にテープが巻き戻されます。

ビデオテープが巻き戻されている時に、POWERスイッチを押した場合、ビデオテープが最初まで巻き戻されると、自動的にビデオレコーダーのスイッチが切れます。

スローモーション再生

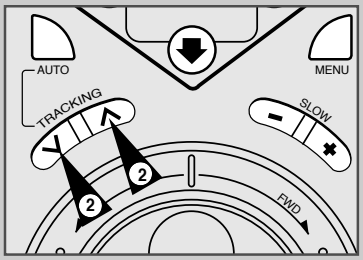
スローモーションでビデオテープを再生することができます。



➢ スローモーションでビデオテープを再生すると、音は出ません。

1
- PLAY(►)ボタンを押すと、ビデオテープの再生をスタートします。
- SLOWボタン(+/-)を押すと、スローモードで再生をスタートします。
- SLOWボタン(+/-)を必要な回数だけ押すと、スピードが増減します。
- PLAY(►)ボタンを押すと、通常のスピードに戻ります。

2 スローモーションで再生すると、画面にノイズが発生する恐れがあります。
トラッキングボタン(へ または∨)を押して、ノイズを最小限に抑えます。

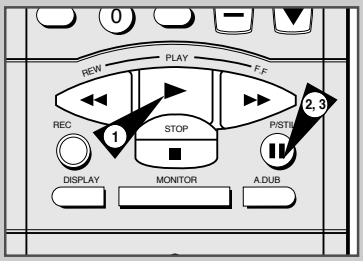


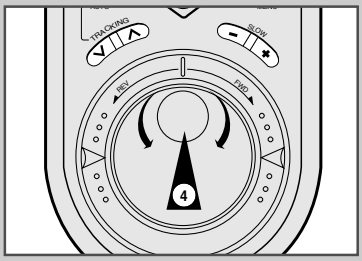
☛ 約5分以上スローモーション機能を使用すると、ビデオテープとビデオのヘッドを保護するために、ビデオレコーダーが自動的に停止します。

- ビデオテープ
- ビデオヘッド

JA

コマ送り再生





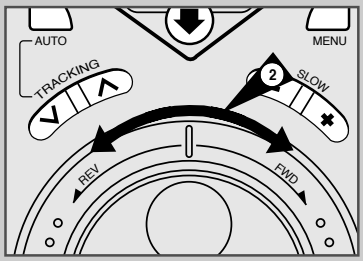
◆ *コマ送りでテープを停止させたり、再生することができます。*

➢ 一コマずつ再生すると、音は出ません。

1	PLAY(►)ボタンを押すと、カセットの再生が始まります。
2	P/STILL (❚❚)ボタンを押すと、コマ送りでテープが停止します。
3	P/STILL (❚❚)ボタンを押すごとに、一コマずつテープが前方に進みます。
4	ステップ **3** の代わりに、JOGつまみを左または右に回すと、前方、後方 に一コマずつ進みます。
5	通常の再生にリセットするには、PLAY(►)ボタンを押します。

☛ JOGつまみの機能を除き、約５分間以上コマ送り機能を使用した場合、ビデオテープとビデオのヘッドを保護するため、ビデオレコーダーが自動的に停止します。

速度を変えて再生(可変速再生)



シャトルつまみの機能を使用して、再生速度を変えることができます。(９時間まで通常速度)。

例: スポーツ選手の技術や一つ一つの動きを分析したいとき、リモコンを使うと、シャトル機能が利用できます。

➢ 速度を変えて再生を行っているときには、音が出ません。

1	PLAY(►)ボタンを押すと、ビデオテープの再生が始まります。
2	シャトルつまみを左または右に回すと、再生速度が変わります。
3	シャトルつまみを回すたびに、下の図のように示されたように速度が変わります。

(すべてSPの場合)

REVERSE X9	REVERSE X7	REVERSE X3	REVERSE PLAY	REVERSE SLOW (1/5)	REVERSE SLOW (1/10)	STILL	SLOW (1/5)	SLOW (1/10)	PLAY	PLAY X2	PLAY X7	PLAY X9

(PAL/SECAM/MESECAM/PAL-MでLPの場合)

REVERSE X15	REVERSE X9	REVERSE X5	REVERSE PLAY	REVERSE SLOW (1/5)	REVERSE SLOW (1/10)	STILL	SLOW (1/5)	SLOW (1/10)	PLAY	PLAY X2	PLAY X9	PLAY X15

(NTSC/PAL-MでSLPの場合)

REVERSE X15	REVERSE X9	REVERSE X7	REVERSE PLAY	REVERSE SLOW (1/5)	REVERSE SLOW (1/10)	STILL	SLOW (1/5)	SLOW (1/10)	PLAY	PLAY X2	PLAY X9	PLAY X15

☛ 速度を変えて再生を行っているとき、あるモードにおいては色が出ないこともあります。これは問題はありません。色が出ないモードは下の通りです。

◆ ***色が出ないモード***
- *LPの変速再生をしているとき*
- *PAL-MのSLPモードの2倍STILL/SLOWの再生のとき*

☛ 2倍や他の速度で再生を行っているときに、雑音や不鮮明な画像が現れる時、鮮明な画像にするにはトラッキングを調整してください。

JA

ストロボ

継続して、不連続の画像を見ることができます。

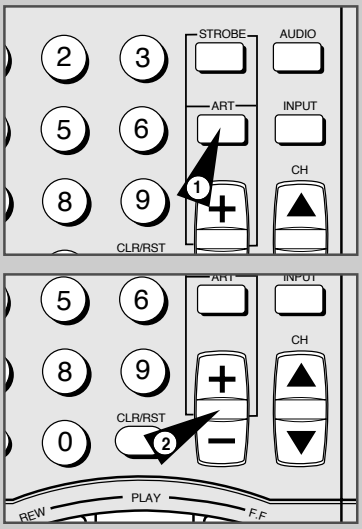
1 再生中またはLINE入力モードで、STOROBEを押します。
結果; 画面に「STOROBE」と表示されます。
SLOWモードのように、画面に不連続の画像が表示されます。

2 +/-を押すと、STROBE（ストロボ）モードの速度が変わります。

3 STROBE（ストロボ）モードを消すには、再度STROBEボタン（ストロボ）を押します。

アート

絵を見るようにアート画像を見ることができます。



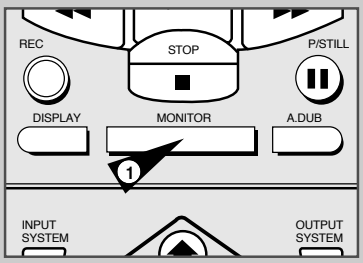
1 再生またはSTOROBEモードの時に、ARTを押します。
結果; 画像のコントラストが変わります。

2 +/-を押すと、ARTモードのコントラストが変わります。

3 ARTモードを消すには、再度ARTを押します。

モニター

変換録画中に、本来の入力信号を見ることができます。

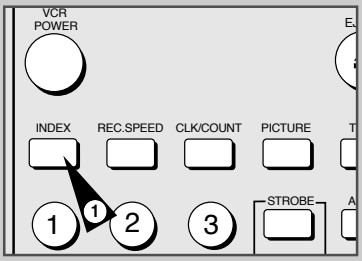


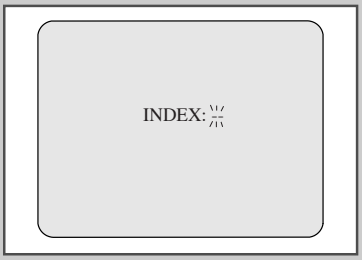
1 変換中にMONITORボタンを押します。
結果; ◆ 本来の入力信号が画面に表示されます。

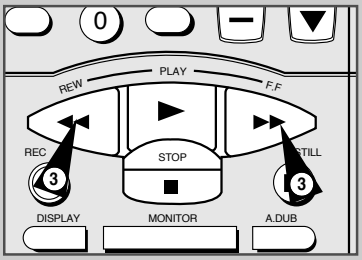
2 MONITORボタンを再び押します。
結果 : ◆ 変換された画面に戻ります

インデックスサーチ機能

JA

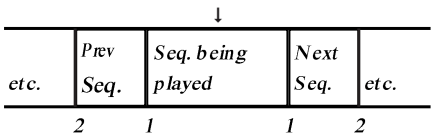






ビデオレコーダーでビデオテープを録画するたびに、録画開始点で自動的に「インデックス」がテープに記録されます。

このサーチ機能により、特定のインデックスまで早送りまたは巻き戻しができ、またその時点から再生を始めることができます。選択された方向に応じて、インデックスは下のように番号がつけられます。



➢ このビデオレコーダーは標準インデックス・システム（VISS）を使用しています。そのため、同じシステムを使用している他のビデオレコーダーによって記録されたインデックスを認識できます。

1 特定のインデックスを検索するには、INDEX ボタンを押します。

2 数字のボタンを使用して、見つけたいインデックスの番号を入力します。

➢ 一桁の数字を入力する場合、その前に 0をつけることを忘れないでください。
例: 02

結果: インデックス番号が表示されます。

3 ビデオレコーダーのサーチさせる方向を選択します。
- REW ボタン（◀◀）を押すと、後方にサーチします。
- F.F ボタン(▶▶)を押すと、前方にサーチします。

結果: インデックスが見つかると、カセットの再生がスタートします。

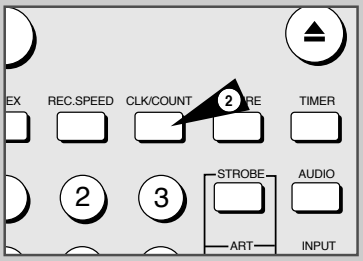
テープカウンターの使用

JA

テープカウンター：

- *再生および録画モードにおける経過時間を表示します。(時、分、秒)*
- *ビデオテープがビデオレコーダーに挿入されると、リセットされます。*
- *簡単に頭出しすることができます。*

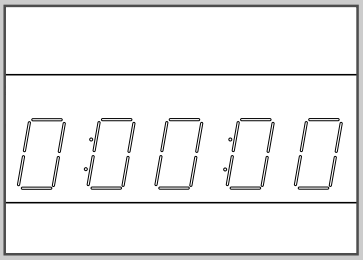
残り時間を正確に計算できるようにするためには、使用するテープの種類を表示させます。17ページを参照してください。



1 ビデオレコーダーにビデオテープを挿入します。

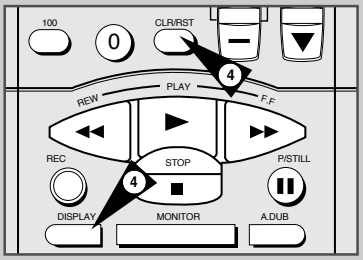
2 CLK/COUNTを二回押します。
結果: テープカウンターが表示されます。
0:00:00.

➢ テープの先頭を0にして、テープカウンターをスタートする必要はありません。

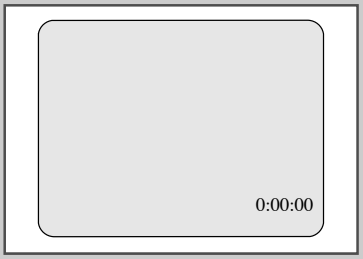


3 必要な操作を選択します。(再生、録画、早送り、巻き戻し)を選択します。
結果： テープカウンターには、テープの進度が表示されます。

4 録画したテープの始めを0にセットするには、
- DISPLAY BUTTONを二回押すと、カウンターが表示されます。
- テープカウンターを0に設定したいときには、CLR/RST BUTTONを押します。



5 カウンターが0に設定されているテープを早送り、または巻き戻しをするには、REW (◀◀) またはF.F (▶▶) を押します。
結果: カウンターが0になると、ビデオレコーダーが自動的に停止します。

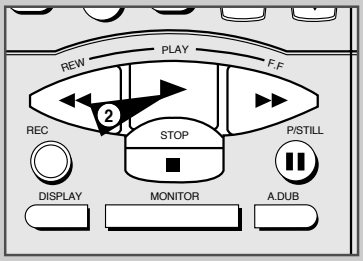


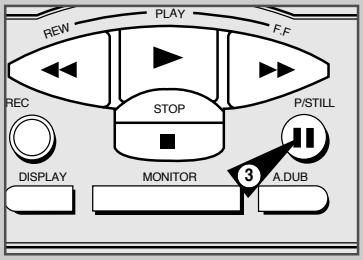
➢ ビデオレコーダーに関する情報を、テレビ画面に表示させることができます。(OSDモードを使用していたい場合; 17ページを参照)

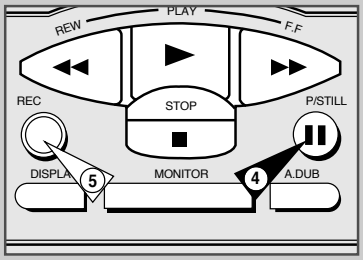
- 一度押すと、現在の機能、プログラム番号、録画速度、日付、時間、そしてカウンターが表示されます。
- 二度押すと、カウンターだけが表示されます。
- 三回押すと、テープの残り時間が表示されます。
- 四回押すと、表示が消えます。

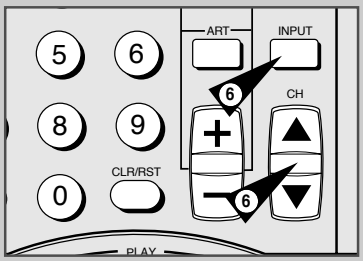
アッセンブル編集機能

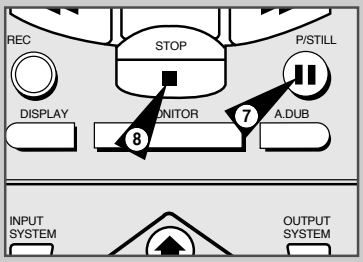
JA











この機能はビデオテープの特定の位置から新たに録画を開始し、録画場面がスムーズにチェンジします。

1 ビデオレコーダーに編集するビデオテープを挿入します。

2 PLAY BUTTON(►)ボタンを押すと、再生が始まります。

3 新たに録画を始めたいところで、P/STILL ボタン(❚❚)を押します。

4 正確に録画したい部分まで、再度P/STILL ボタンを（❚❚）を必要な回数だけ押して、一コマずつ進めます。

5 ビデオレコーダーが停止モードの時にREC BUTTONを押すと、編集機能が起動します。
結果: 録画マーク(◯)が画面上に点滅します。

6 INPUT BUTTONを押して、録画したい部分入力端子を選択します。
- CH BUTTON（▲ ）ボタンを押して、テレビのチャンネルを変えます。
- 入力ボタンはSC、AV、 L1、 L2対応です。
- 必要に応じた配線を行って、ソースを始動させます。（39ページを参照）

7 P/STILL (❚❚)ボタンを押して、録画をスタートします。

8 録画が完了したら、STOP(■)ボタンを押します。

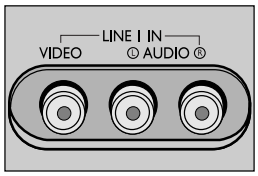
※ *録画開始部分や録画一時停止をし、録画再開した部分を再生すると、ノイズや色のにじみ(レインボーノイズ)が出ますが、機構上によるもので故障ではありません。*

他の機器との接続

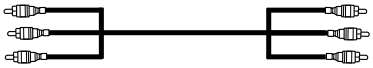
JA

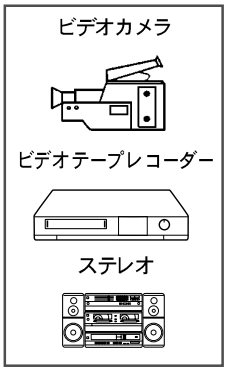
またこの他に、他のオーディオ・ビデオ機器を接続することができます。以下の説明は可能な接続の例を示したものです。

➢ ビデオレコーダー正面のLINE 1入力コネクターは、ビデオカメラ、ビデオレコーダー、またはステレオ機器などに使用します。

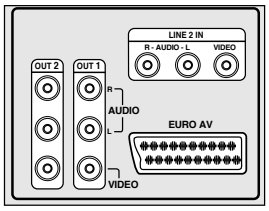


ビデオの前面

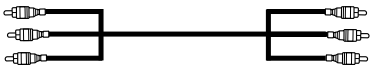




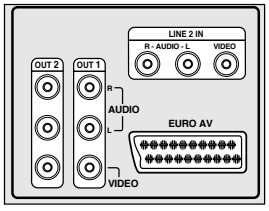
➢ RCA出力コネクター（OUT1あるいはOUT2）はビデオレコーダーの後部の上にステレオサウンドシステムのような機器に信号を送るために使用されます。



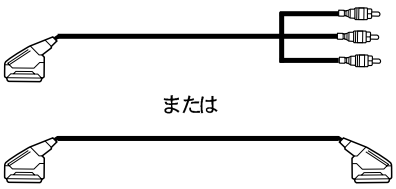
ビデオレコーダーの後部



➢ EUROAVコネクターは衛星チューナーまたビデオレコーダーのようなSCART入力 /出力の機器に使用されます。

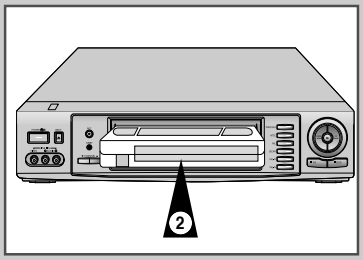


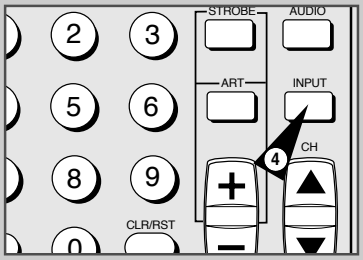
ビデオレコーダーの後部

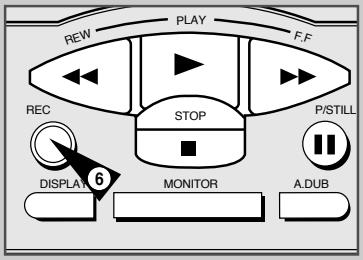


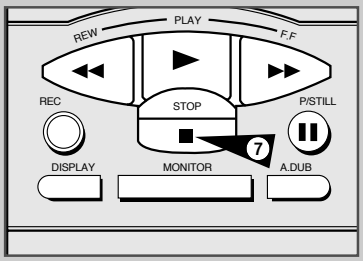
他のVCRまたはビデオカメラからの録画

JA









他のVCRやビデオカメラなどのビデオソースから、ビデオテープをコピーすることができます。

著作権の許可なく、録画済みのビデオテープをコピーすることは、著作権法に違反します。

1 39ページの図のように、コピーされる側のビデオレコーダーのビデオ出力とSAMSUNGビデオレコーダーの前面のビデオ入力コネクターを接続します。

➢ 他のビデオデッキがステレオサウンド対応ではない場合は、チャンネルオーディオ入力(L)に接続します。

ビデオレコーダーの後部にあるEURO AVに接続するためにSCARTケーブルを使用することもできます。

2 録画用のビデオテープを挿入します。

3 他のビデオデッキ（ビデオレコーダーまたはビデオカメラ）に録画済みのビデオテープを挿入します。

4 入力ボタンを押して、ビデオの適切な入力を選択します。
- LINE 1またはLINE 2
- EURO AV用のAV

5 コピーするために再生ボタンをスタートします。

6 RECボタンを1秒ぐらい押して、ビデオレコーダーの録画をスタートします。

7 録画が完了したら、両方のビデオレコーダーのSTOP（■)ボタンを押します。

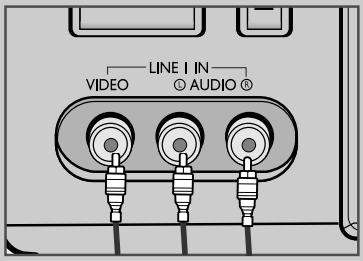
➢ コピーしたビデオテープを見たいときには:
- ビデオレコーダーがテレビに接続されているかを確認してください。
  (詳しい説明は、14ページを参照)
- テレビ外部入力を選択してください。

JA

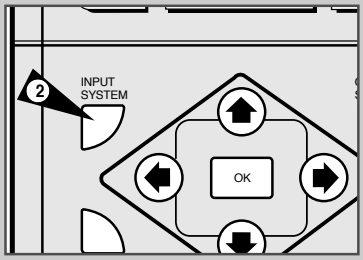
テレビ・システムの変換

入力信号をお好みのテレビシステムに変換することができます。

1 RCA audio/videoケーブルをビデオテープレコーダーの前面にあるLINE1 INソケットに接続します。



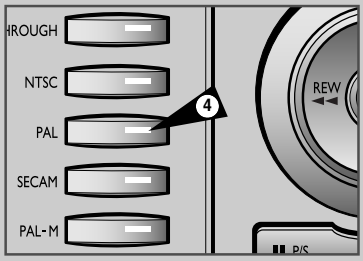
2 リモコンのINPUT SYSYTEM（入力システム）を押して、入力信号を選択します。
- AUTO MODEが選択されているとき、入力信号は自動判別になります。
- 入力信号が自動判別されない場合は、対応する入力システムを選択してください。



3 NTSC TVシステムをPALシステムに変換したい場合は、リモコンの入力システムボタンでAUTOやNTSCシステムを選択します。
結果: 表示パネルはNTSC入力信号とNTSC出力信号を表示します。

- 入力信号がビデオテープレコーダーの入力ボタンと対応しないとき には、おかしな信号が出力されます。

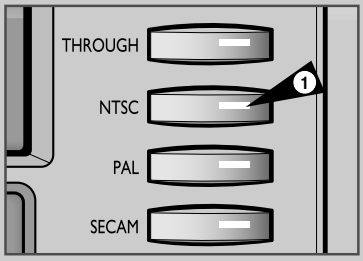
4 ビデオテープレコーダーのPAL出力システムボタンを押します。
結果: 表示パネルにはNTSC入力信号とPAL出力信号が表示され、またNTSC信号が出力対応のPAL信号に変換されます。



再生変換

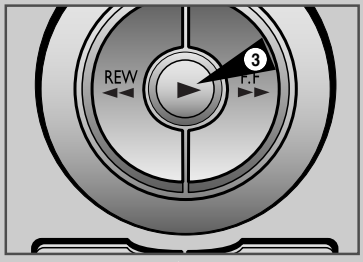
信号録画されたビデオテープを国対応のテープに交換して 再生することができます。

1 PALシステムビデオテープを再生としてNTSCシステムに変換したいときには、ビデオテープレコーダーのNTSC出力ボタンを押します。
結果: 表示パネルにNTSC出力信号が表示されます。



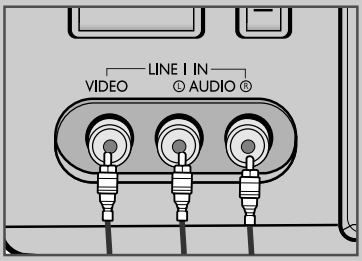
2 ビデオテープレコーダーにビデオテープを挿入します。
- ⊙⊙ が表示パネルに表示されます。
- ツメが折られていないビデオテープは自動的に再生されます。

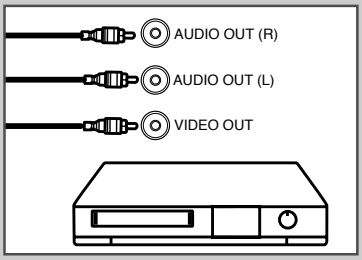
3 PLAY(►)ボタンを押します。
結果: テープに録画されたPALシステムは自動的 に認識され、PAL信号がNTSC信号に変換されます。

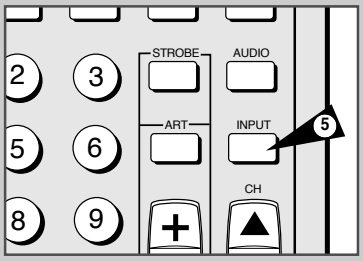


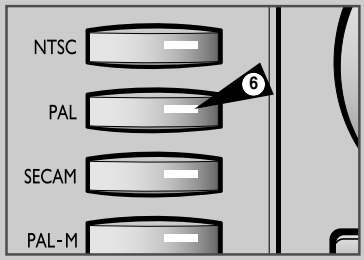
変換録画

JA









テープに録画された信号をもう一つのビデオテープレコーダーに別のフォーマットで変換することができます。

1 RCA Audio/Videoケーブルを Samsung ビデオテープレコーダー (SV-9000W)の前面にある入力ジャックに接続します。

2 録画用のビデオテープを挿入します。

3 RCA Audio/Videoケーブルの端を他のビデオテープレコーダー（39ページ参照）の出力コネクターに接続します。

4 NTSCで録画されたテープをPALに変換したい場合は、NTSCテープを他のビデオテープレコーダーに挿入します。

5 リモコンの入力(INPUT)ボタンを押して、L1入力を選択します。
結果: 表示パネルにL1が現れます。

6 前面パネルのPAL出力システムボタンを押し、PALシステムを選択します。
結果: 表示パネルにPALが現れます。

7 他のビデオテープレコーダーの再生(PLAY)ボタンを押します。

8 1秒ぐらいSamsungビデオテープレコーダーのRECボタンを押します。
結果: 表示パネルに ○ が現れ、録画が始まります。

➢ 他のフォーマットに変換録画を行うためには、この方法を行ってください。

Hi-Fiオーディオ・システム

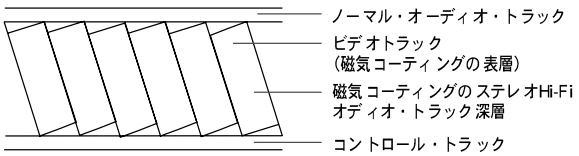
JA

Hi-FiおよびノーマルÅEオーディオ

ビデオと、同時にVHSテープと適合したVCRは新しく開発されたHi-Fiオーディオ・サウンドのオーディオ録音システムを採用しています。

Hi-Fiオーディオ信号（2チャンネル）は、テープの磁気コーティングに深く記録され、ビデオ信号は浅い層のオーディオ信号トップに記録されます。同時に、その他のオーディオ・ヘッドが、ノーマル・オーディオ信号(モノラル)を、ノーマル・オーディオ・トラックに記録します。オーディオ・ダビング機能により、古いモノラル・サウンドトラックを消去し、新しいもの記録することができます。

おなたのVCRを使って録音したテープ・パターン



ノーマル・オーディオ・トラックがノーマル・オーディオを提供するのに対し、Hi-Fiオーディオの録音と再生は、Hi-Fiオーディオ・トラックからのみ利用可能です。

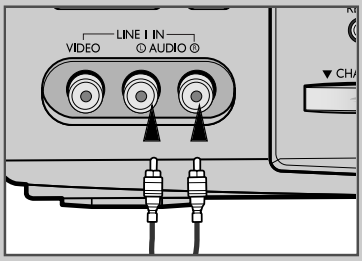
Hi-Fiとノーマル・サウンド・トラックは同時に録音され、オーディオ・ダビングは、ノーマル・オーディオ・トラックにのみ適用できます。

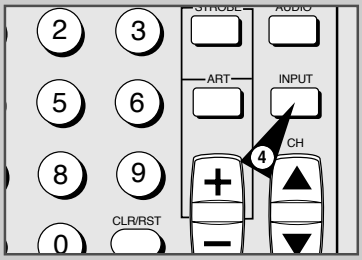
インプットボタンの設定による録画オプション

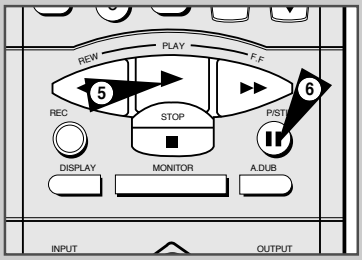
トラック / インプットボタン	ビデオトラック	ノーマルトラック（モノ）	ハイファイオーディオトラック（2ーチャンネル）
チューナー (PR10)	テレビ画像（組み込みのチューナーから）	テレビサウンド（組み込みのチューナーから）	
サイマルキャスト (SC)	テレビ画像（組み込みのチューナーから）	オーディオ入力コネクターからのオーディオ信号（Line1）	
LINE 1 (L1) LINE 2 (L2)	ビデオ入力コネクターからのビデオ信号	オーディオ入力コネクターからのオーディオ信号	
EUROAV (AV)	オーディオ/ビデオコネクターからのビデオ信号	オーディオ/ビデオコネクターからのオーディオ信号	

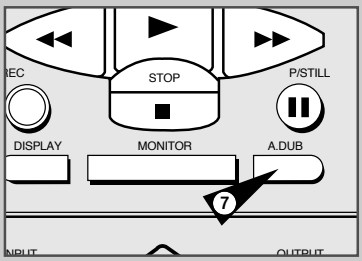
オーディオ・ダビング

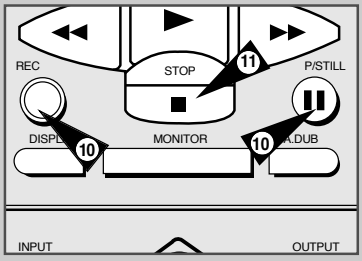
JA











自動ダビング機能を使って、以前に録音したサウンドを消去し、次のものからの新しいサウンドトラックと交換することができます。

- *CDプレーヤー*
- *サウンドシステムに接続されたマイクロホン*
- *カセットプレーヤー*

注意:
オーディオ・ダビングはモノラル音声トラックのみ適用できます。（ノーマルオーディオ）

1 ビデオレコーダーのオーディオ・コードをサウンドシステム（たとえばCD/カセットプレーヤー）の出力端子に接続します。

2 ビデオレコーダーのオーディオ・コードのもう一方、VCRの正面にあるオーディオ入力端子(L+R)に接続します。

3 録画されたビデオテープを挿入します。

4 L1が表示されるまでINPUT BUTTONを押して、LINE1入力を選択します。

5 オーディオダビングの位置を決めます。

6 P/STILL BUTTON(⏸)を押します。

7 A.DUB（オーディオ・ダビング）を押します。
結果: ビデオレコーダーはオーディオ・ダビング・ポーズモードになっています。

8 サウンドシステム側で、再生したいCDまたはビデオテープの位置を決めます。

9 サウンドシステムの一時停止ボタンを押します。

10 準備ができたら:
- サウンドシステムの再生をスタートします。
- リモコンのREC（録画）またはP/STILL (⏸) ボタンを押します。

結果: 録画されたビデオテープのモノラル音声トラックに記録されます。

11 録画を終了したら、STOP BUTTON(■)を押します。

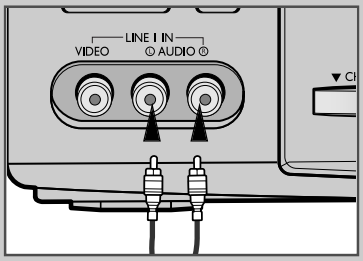
F M同時放送番組録画

JA

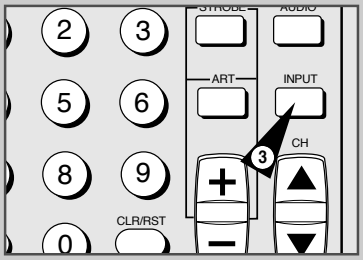
F M同時放送内容を録画することができます。

- *ビデオテープレコーダーチューナーで受信した画像*
- *他のソースからのサウンドをビデオテープレコーダーの前面のLINE 1 RCA入力コネクターが受信します。*

例: *テレビやラジオで同時放送のコンサートをFMステレオのサウンドで楽しみたいとき*



1 RCAオーディオケーブルをサウンドシステムの出力端子に接続します。(たとえばラジオ)

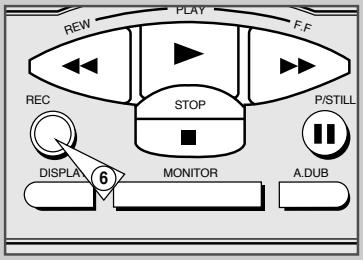


2 他のRCAオーディオケーブルの端をビデオの前面にあるオーディオ入力コネクター(L+R)に接続します。

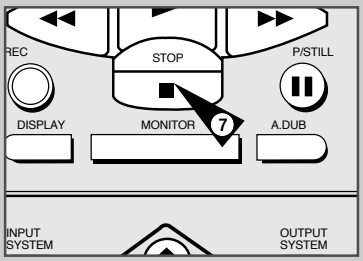
3 INPUT ボタンを1秒ぐらい押してサイマルキャスト(SC)モードを選択すると、SCが表示されます。

4 CHのUP/DOWNでテレビ番組を選択します。

5 ラジオ局を選択します。



6 REC (録画) ボタンを1秒ぐらい押すと録画が始まります。
結果: チューナーで受信した画像はLINE 1 入力で受信した音が録画されます。



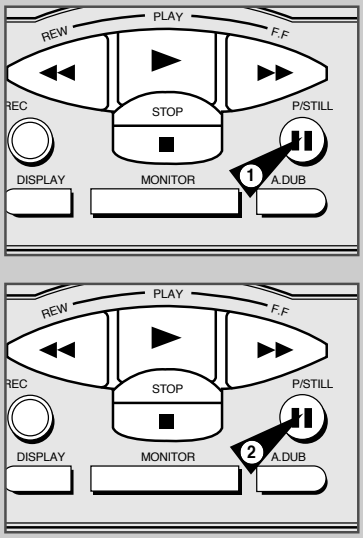
7 録画が終わったら、STOP ボタン(■)を押します。

➢ 録画された画像を見たいときには

- ビデオレコーダーがテレビと接続されていなければなりません。(詳しい説明は14ページを参照)

JA

VCRのロック



小児がいたずらをしないようにビデオレコーダーの再生機能をロックすることができます。

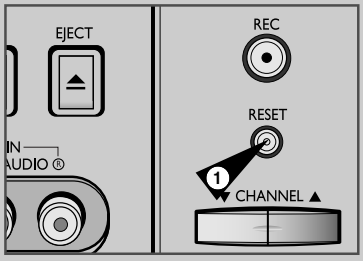
ビデオを通しテレビ番組を見ることができますが、ビデオテープを挿入したり再生することはできません。

1 ビデオレコーダーをロックするには、約5秒間P/STILL BUTTON(⏸)を押します。
結果: ロックインジケーターが表示されます。

➢ビデオの中にビデオテープを入れたままロックをすると、ビデオテープを取り出すことはできません。

2 ビデオレコーダーのロックを解除するには、約5秒間P/STILL(⏸)BUTTONを押し続けます。
結果: LOCKインジケーターは消えます。

VCRのリセット



ビデオテープレコーダーが正常に作動していなかったり、インジケーターが表示されなかったり、画面に画像が現れなかったりしたときには、リセットを行ってください。

1 鉛筆かペンを使って、前面パネルのリセットボタンを押して、ビデオテープレコーダのリセットを行います。
結果: 設定を行ったデータは消去され、再度設定入力が必要です。

2 ビデオテープレコーダーをリセットしても問題が解消されない場合には、48ページを参考にアフターサービスに依頼される前に簡単なチェックを行ってください。

仕様

JA

録画システム	回転ヘッド方式、輝度信号FM変調	
	色信号: 低域変換(NTSC, PAL, PAL-M, MESECAM)	
	色信号: 1/4周波数カウントダウン(SECAM)	
カラーシステム	NTSC, NTSC4.43, PAL, PAL-M, PAL-N. SECAM	
チューニングシステム	B/G, D/K, I, M, N	
RF OUT	M/G/1/K UHF 13-62	
テープ録画 / 再生	NTSC, PAL, PAL-M, SECAM, MESECAM	
テープスピード	NTSC	33.35mm/sec (標準録画: SP)
	PAL-M	11.12mm/sec (3倍録画: SLP)
	PAL	23.39mm/sec (標準録画: SP)
	MESECAM	11.69mm/sec (2倍録画 : LP)
	SECAM	
テープフォーマット	VHSタイプビデオテープ、S-VHSタイプテープ（再生のみ）	
録画時間	最大8 時間（T-160テープE/240を使用した場合）	
巻き戻し時間時	100秒以内（高速巻き戻し、T-120またはE-180テープ）	
ビデオ入力	1.0Vp-p (不平衡) 75Ω	
ビデオ出力	1.0Vp-p (不平衡) 75Ω	
ビデオS/N	43dB以上（標準録画）	
解像度	220以上（標準録画NTSC）、240（標準録画PAL）	
オーディオ入力	-8dBm、47Ω（不平衡）	
オーディオ出力	-8±3dBm、 1Ω（不平衡）	
オーディオS/N	39dB(MONO)、68dB(Hi-Fi)以上	
オーディオ周波数特性	20Hz-20kHz	
電源	100V~240V AC	
電源周波数	50/60Hz	
消費電力	録音時24ワット消費、オフ時8ワット消費	
使用周囲温度	5℃~40℃	
設置条件	使用位置: 水平、相対湿度: 80%	
外形寸法	幅430mm(16.9in)×長さ295mm(11.6in)×高さ98mm(3.86in)	
重量	4.3Kg(9.5lbs)	

問題と対策

JA

SAMSUNGのサービスセンターに依頼される前に、以下のような内容をご確認ください。

問題	説明／対策
電源が入らない	◆ 電源プラグがコンセントに接続されているか確認してください。 ◆ ビデオレコーダーのPOWER BUTTONを押しましたか。
ビデオテープを挿入することができない	◆ ビデオテープは窓がある側を上向きにし、 再録画防止のツメが手前に来るようにしないと、挿入できません。 ◆ ビデオレコーダーがセフティーロック （LOCKが表示される）されていないことを確認します。（セフティーロックを解除するには、P/STILL(⏸) を少なくとも 5 秒押し続けます。
テレビ番組が録画できなかった	◆ ビデオレコーダー・アンテナの接続を確認します。 ◆ ビデオレコーダーのチューナーが正しくセットされていますか。 ◆ ビデオテープのツメが折れていないかを点検してください。
タイマー録画ができなかった	◆ タイマーを始動させるためにビデオレコーダーのVCR POWERボタンを押しましたか。 ◆ 録画開始・停止時間設定をもう一度確認してください。 ◆ タイマー録画中に電源が故障したり遮断されたときには、録画がキャンセルされます。 ◆ タイマープログラムで選択されたチャンネル番号が正しいか確認します。
再生画像が出ない、または画像が歪む	◆ TRACKINGボタン(∧ または ∨)を押します。 ◆ 録画済みのテープを使用していないかを確認します。 ◆ ユーザーセットメニューの再生システムを確認します。 ◆ ユーザーセット 2メニューのSQPBを確認します。 (31 ページを参照)
普通の放送番組を見ることができない	◆ ビデオレコーダーチューナーの入力ボタンを使用しながら選択されたソースをチェックします。 ◆ テレビとビデオレコーダー、アンテナの接続を確認します。
再生中に帯状のノイズが出る	◆ TRACKINGボタン(∧ または ∨)を押して、ノイズを最小限に抑えます。
巻き戻し(REW)ボタン や早送り(F.F)ボタンを押しても 作動できない	◆ テープがすでに巻き取られ済みかどうかを確認します。
再生中にS/STILL (⏸) ボタンを押すと、静止画像に 「帯状のノイズ」が出る	◆ テープの状態により静止画像に「帯状のノイズ」 が出ることがあります。TRACKING BUTTON(∧ または ∨)を押して、ノイズを最小限に抑えるように調整します。
誤作動する、また表示されない	◆ 鉛筆を使ってリセット(RESET)ボタンを押し、ビデオレコーダーを再び初期化します。あらかじめ設定した全てのデータが消去されますので、ご注意ください。

上記の確認でも、なお問題が解決されない場合は:

- *ビデオレコーダーの背面にあるモデルとシリアルナンバー、保証書、問題点をお書きの上、お近くのSAMSUNGサービスへご依頼ください。*

用語集

JA

ビデオレコーダーの特徴を充分にご理解いただき、ご使用いただけるよう、この取扱説明書で扱われる主な専門用語を説明しています。

チューナー	アンテナあるいはケーブルテレビから受信した信号を解読するために使われるビデオレコーダーの機能。 チューナーは放送は一つだけ受信することができます。テレビで異なる放送番組をご覧になりながら、このチューナーで一つの放送番組を録画することができます。放送を受信するには、チューナーを見たいチャンネル番号に設定しなければなりません。
放送局またはチャネル	放送また番組を伝達できるように周波数が割り当てられている放送会社
番組	番号を選択してビデオレコーダーのチャンネルを簡単に選択することができます。 放送が所定のチャンネルに信号が送信されます。
ケーブルＴＶ	契約制の放送を行っている同軸ケーブルネットワーク。ケーブルはアンテナのように入力されて接続されています。
THROUGH	受信又は、入力された信号を変換しないで出力します。

世界放送システム

JA

システム / 項目	NTSC	PAL					SECAM			
		B/G	D/K	N	M	I	B/G	D/K	I	L
国	バハマ バルバドス バーミューダ カンボジア カナダ チリ コロンビア コスタリカ キューバ ドミニカ エクアドル エルサルバドル グリーンランド グアム グアテマラ ハイチ ホンジュラス ジャマイカ 日本 韓国 メキシコ ミクロネシア ミャンマー ニカラグア パナマ ペルー フィリピン プエルトリコ サモア アメリカ スリナム 台湾 トリニダード& トバゴ US.A ベネズエラ バージン諸島 ベトナム	アフガニスタン アルバニア、アルジェリア オーストラリア オーストリア、アゾレス バーレーン バングラデシュ ブルネイ、カメルーン カナリー諸島 カボベルデ キプロス、デンマーク フィジー、フィンランド ドイツ、グラナ アイスランド、インド インドネシア、イスラエル イタリア、ヨルダン コーニャ、クウェート ラオス リヒテンシュタイン マデイラ マジョルカ島 マレーシア、マラウイ モザンビーク オランダ、 ニュージーランド ナイジェリア、ノルウェー オマーン パキスタン、パレスチナ パプアニューギニア ポルトガル、カタール シエラレオネ シンガポール、スペイン スリランカ スーダン、スワジランド スウェーデン、スイス タイ、トルコ ウガンダ、イエメン アラブ首長国連邦 ザンビア、ジンバブエ	中国 北朝鮮	アルゼンチン パラグアイ ウルグアイ ボリビア	ブラジル	アンゴラ ボツワナ 香港 南アフリカ ザンジバル	エジプト、 イラン イラク レバノン レソト リビア モーリタニア サウジアラビア チュニジア	ブルガリア ロシア コンゴ チェコ共和国 ブルキナファソ ブルンジ ジプチ 仏領ギニア ガボール グアドループ ギニア ギニア -ビサウ ギアナ ハンガリー コートジボワール 共和国 マダガスカル マルチニーク モンゴル ポーランド リユニオン ルーマニア スロバキア タヒチ トーゴ ザイール ニューカレドニア ニジェール ルワンダ セネガル	ガンビア	ガンビア フランス

国際サービスネットワーク

JA

● 本社（韓国）

Tel: 82-331-200-5570
Web サイト: http://www.samsungelectronics.com

● 北&ラテンアメリカ

U.S.A（合衆国アメリカ）
Tel: 973-691-6200/1-800-Samsung
Web サイト: http://www.sosimple.com

カナダ
Tel: 905-819-5031/1-800-Samsung
Web サイト: http://www.samsungcanada.com

メキシコ
Tel:52-5-686-0800
Web サイト: http://www.samsung-latin-america.co

パナマ
Tel:507-210-1133
Web サイト: http://www.samsung-latin-america.co

ブラジル
Tel: 55-11-541-8500
Web サイト: http://www.samsung-latin-america.co

アルゼンチン
Tel:541-308-4777
Web サイト: http://www.samsung.com.ar

コロンビア
Tel: 57-1-633-4410
Web サイト: http://www.samsung-colombia.com

Chille
Tel: 56-2-232-7000
Web サイト: http://www.samsung-latin-amaerica.co

ペルー
Tel: 51-1-4-401-1121
Web サイト: http://www.samsung-latin-america.co

● 中東&アフリカ

ドバイ
Tel: 971-4-837-700

サウジアラビア
Tel: 966-2-651-2111

クウェート
Tel: 965-470-6612

南アフリカ
Tel: 27-11-463-5678
Web サイト: http//www.samsung.co.za

● ヨーロッパ

イギリス
Tel: 44-1952-292-262
Web サイト: http//www.samsung.electronics.co.kr

フランス
Tel: 33-10-4938-6
Web サイト: http//www.samsung.fr

ドイツ
Tel: 49-6196-66-1900
Web サイト: http//www.samsung.de

イタリア
Tel: 39-2-9214-1815

ポルトガル
Tel: 35-1-414-8112

スペイン
Tel: 34-3-261-6701

スウェーデン
Tel: 468-5910-96630
Web サイト: http//www.samsung.se

オランダ
Tel: 3170-307-2910
Web サイト: http//www.samsung.nl

ハンガリー
Tel: 36-1-188-7925

ロシア
Tel: 1-502-224-5210（モスクワ）
Tel: 380-44-227-8330（ウクライナ）

● アジア&オセアニア

シンガポール
Tel: 65-568-7500

日本
Tel: 81-3-5564-0360
Web サイト: http//www.samsung.co.jp

インド
Tel: 91-11-643-7391
Web サイト: http//www.samsung.india.com

中国
Tel: 86-10-6460-6504

オーストラリア
Tel: 61-2-9898-5745
Web サイト: http//www.samsung.co.au

AC68-01986A